

令和2年度 厚生労働省老健局 老人保健課

要介護認定適正化事業 認定調査員能力向上研修会

## ⑦ 業務分析データの解釈

---

2021年3月

みずほ情報総研株式会社  
社会政策コンサルティング部

# 業務分析データの目的と留意点

---

## □ 目的

- 「業務分析データ」は、客観的なデータ(認定支援ネットワークデータ)から各自治体単位の認定調査(基本調査)や介護認定審査会の相対的な位置を明らかにし、各自治体の特徴を把握することを目的としている。

## □ 留意点

- データの偏りは、その自治体の**特徴**を客観的に表すが、直接的に各自治体の**課題**を示すわけではない。データは、課題分析のための「きっかけ」であり、材料の一つであることに留意。
  - ただし、データの示す特徴から、課題発見のためのヒントを得ることは可能。
-

# 業務分析データにて提供しているデータ

## □ 主な構成

### 業務分析データ

事務局データ／調査員データ／審査会データ

他自治体との相対的な関係を知ることで、それぞれの自治体の全体における「位置」を知ることができる。

### 合議体別分析ツール

合議体審査判定データ(一次判定・二次判定)

それぞれの自治体内の「ばらつき」状況を客観的に把握するためのツール。

## □ 業務分析データの特徴と利点

- 全国統一のフォーマットで整理されているため(約1,900パターンの業務分析データを作成)、他自治体との情報共有・情報交換が容易。
- 単なる平均の比較ではなく、各自治体のデータの「ばらつき」を表示することで、各自治体の相対的な位置づけがわかる(「かたより」の有無の確認)。
- 認定調査の選択率のデータと、認定調査員向けeラーニングシステムのデータを相互に検討することで、課題の確認や対策の検討が可能。

# 都道府県等に提供するデータ

- 市町村に提供する「業務分析データ」と同様の項目について、構成する市町村の状況を一覧できるデータ集「都道府県別自治体データ一覧」を、都道府県、政令市（※区単位送信のみ）に提供

## 「都道府県別自治体データ一覧」のイメージ

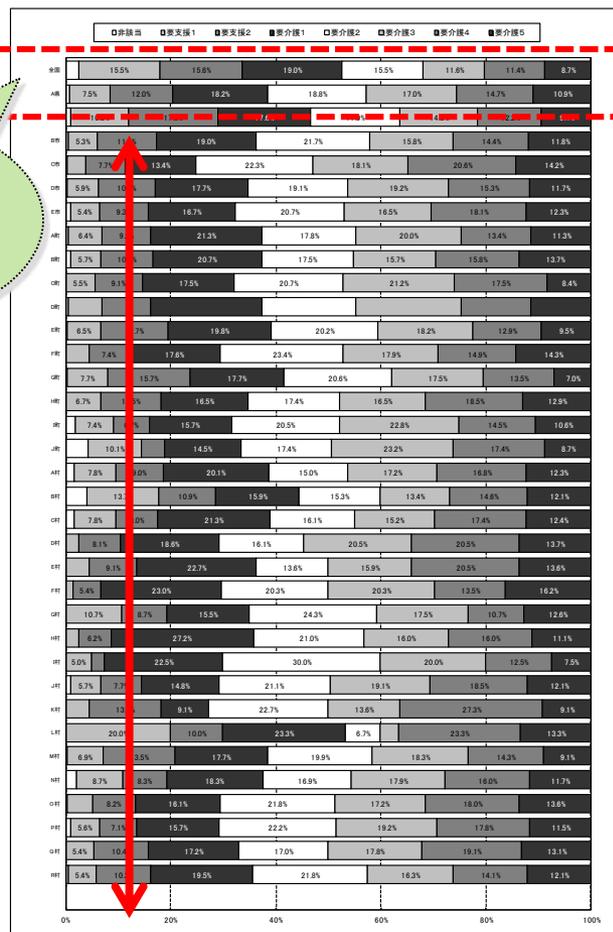
(1)-1-2 申請区別一次判定結果(更新申請者)

| No.    | 項目 | 件数        |
|--------|----|-----------|
| 全国     | 全国 | 2,117,282 |
| 000000 | A県 | 16,567    |
| 00000  | A市 | 4,647     |
| 00001  | B市 | 916       |
| 00002  | C市 | 613       |
| 00003  | D市 | 640       |
| 00004  | E市 | 624       |
| 00005  | A町 | 611       |
| 00006  | B町 | 1,350     |
| 00007  | C町 | 1,026     |
| 00008  | D町 | -         |
| 00009  | E町 | 1,376     |
| 00010  | F町 | 680       |
| 00011  | G町 | 817       |
| 00012  | H町 | 357       |
| 00013  | I町 | 566       |
| 00014  | J町 | 69        |
| 00015  | A村 | 641       |
| 00016  | B村 | 321       |
| 00017  | C村 | 460       |
| 00018  | D村 | 161       |
| 00019  | E村 | 44        |
| 00020  | F村 | 74        |
| 00021  | G村 | 103       |
| 00022  | H村 | 81        |
| 00023  | I村 | 40        |
| 00024  | J村 | 298       |
| 00025  | K村 | 22        |
| 00026  | L村 | 30        |
| 00027  | M村 | 1,457     |
| 00028  | N村 | 2,057     |
| 00029  | O村 | 2,013     |
| 00030  | P村 | 338       |
| 00031  | Q村 | 518       |
| 00032  | R村 | 1,174     |

| (1)-1-2 申請区別一次判定結果(更新申請者) |       |       |       |       |       |
|---------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 非該当                       | 要支援1  | 要支援2  | 要介護1  | 要介護2  | 要介護3  |
| 2.5%                      | 15.5% | 15.6% | 19.0% | 15.5% | 11.3% |
| 0.8%                      | 7.5%  | 12.0% | 18.2% | 18.9% | 13.7% |
| 1.1%                      | 10.8% | 17.0% | 17.6% | 17.6% | 13.7% |
| 0.7%                      | 5.3%  | 11.2% | 19.0% | 21.7% | 13.7% |
| 0.3%                      | 3.4%  | 7.7%  | 13.4% | 22.3% | 12.9% |
| 0.3%                      | 5.9%  | 10.8% | 17.7% | 19.1% | 12.9% |
| 1.0%                      | 5.4%  | 9.3%  | 16.7% | 20.7% | 16.5% |
| 0.7%                      | 6.4%  | 9.2%  | 21.3% | 17.8% | 20.0% |
| 1.0%                      | 5.7%  | 10.0% | 20.7% | 17.5% | 15.7% |
| 0.1%                      | 5.5%  | 9.1%  | 17.5% | 20.7% | 21.2% |
| -                         | -     | -     | -     | -     | -     |
| 0.3%                      | 6.5%  | 12.7% | 19.8% | 20.2% | 18.2% |
| 0.0%                      | 4.6%  | 7.4%  | 17.6% | 23.4% | 17.9% |
| 0.4%                      | 7.7%  | 15.7% | 17.7% | 20.6% | 17.5% |
| 0.0%                      | 6.7%  | 11.5% | 16.5% | 17.4% | 16.5% |
| 1.8%                      | 7.4%  | 6.7%  | 15.7% | 20.5% | 22.8% |
| 4.3%                      | 10.1% | 4.3%  | 14.5% | 17.4% | 23.2% |
| 1.7%                      | 7.8%  | 9.0%  | 20.1% | 15.0% | 17.2% |
| 4.0%                      | 13.7% | 10.9% | 15.9% | 15.3% | 13.4% |
| 1.7%                      | 7.8%  | 8.0%  | 21.3% | 16.1% | 15.2% |
| 0.0%                      | 2.5%  | 8.1%  | 18.6% | 16.1% | 20.5% |
| 0.0%                      | 4.5%  | 9.1%  | 22.7% | 15.9% | 20.5% |
| 0.0%                      | 1.4%  | 5.4%  | 23.0% | 20.3% | 13.5% |
| 0.0%                      | 10.7% | 8.7%  | 17.5% | 10.7% | 12.6% |
| 0.0%                      | 2.5%  | -     | -     | -     | 16.0% |
| 0.0%                      | 5.6%  | -     | -     | -     | 11.1% |
| 1.0%                      | -     | -     | -     | -     | 9.1%  |
| 0.0%                      | -     | -     | -     | -     | 11.7% |
| 0.4%                      | 4.7%  | -     | -     | -     | 13.6% |
| 0.9%                      | 5.6%  | -     | -     | -     | 17.8% |
| 0.0%                      | 5.4%  | 10.4% | -     | -     | 19.1% |
| 0.5%                      | 5.4%  | 10.3% | 19.5% | 21.8% | 16.3% |

上段に「全国」と「都道府県」のデータを表示

構成する市町村の「データ」と「グラフ」を一覧で提供

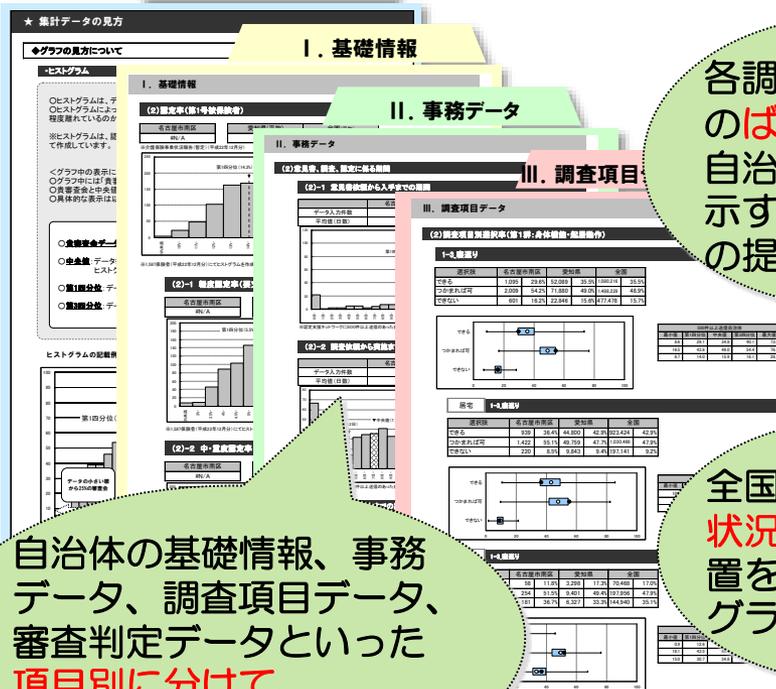


# 業務分析データのイメージ

■「業務分析データ」は、各自治体の職員が、認定の適正な運営に関する課題分析をおこなうための基礎資料を提供することを目的としている。自治体が自身の状況を把握し、自ら適正化に向けた課題を把握するための客観的な情報を提供することにある。

## 提供するデータのイメージ①

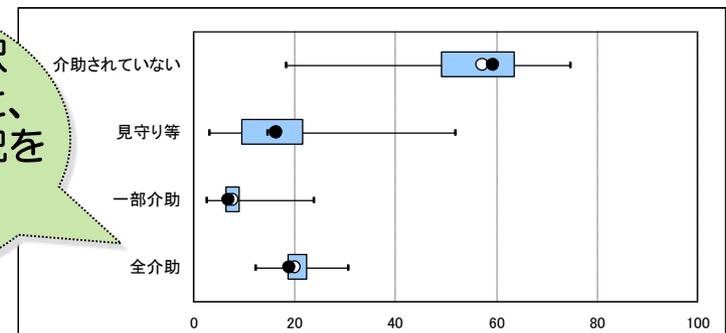
データの見方



自治体の基礎情報、事務データ、調査項目データ、審査判定データといった項目別に分けて、エクセルシートを提供

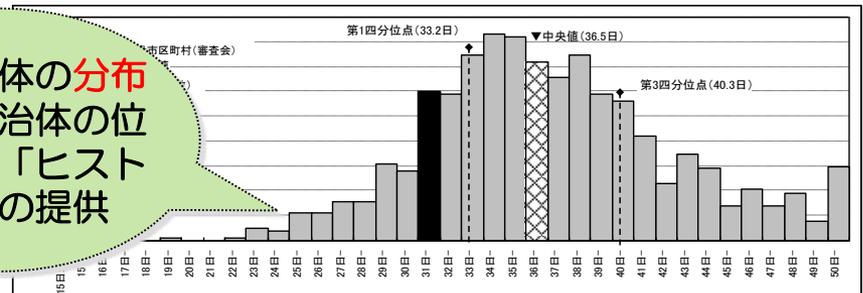
## 提供するデータのイメージ②

選択率のばらつき状況を示す「箱ひげ図」 例示)2-2.移動



各調査項目の選択のばらつき状況と、自治体の選択状況を示す「箱ひげ図」の提供

自治体の分布を示す「ヒストグラム」 例示)申請から認定までの期間



全国自治体の分布状況と自治体の位置を示す「ヒストグラム」の提供

# 【参考】合議体別分析ツールのイメージ

- 自治体の合議体別の情報を自動的に集計、アウトプットするツール

## 合議体別分析ツールの目的

### <業務分析データ>



自治体全体の状況を把握できるが、自治体内部の状況は分からない。

### <合議体別分析ツールの提供>



合議体間のバラツキ状況を把握することができ、各合議体の特徴を把握することができる。

## 合議体別分析ツールの利用方法

### <STEP1>

認定支援ネットワークに送信しているデータを、認定ソフトより抽出。



データの抽出

### <STEP2>

抽出したデータを提供する「合議体別グラフ作成ツール」にて開く。



抽出データを開く

### <アウトプット>

分析データ、グラフ等を自動作成し、分析データを提供する。



分析データを自動作成

事務局の業務はデータの抽出のみ

事務局による複雑なデータの入力は不要

# 業務分析データの構成

---

## □ I.基礎情報

- 人口構成、認定率などの基本統計情報

## □ II.調査項目データ

- 74の基本調査項目の選択率(全申請者に対する各選択肢の選択率をグラフ表示)

## □ III.審査判定データ

- 一次判定・二次判定の分布
- 重度・軽度変更率

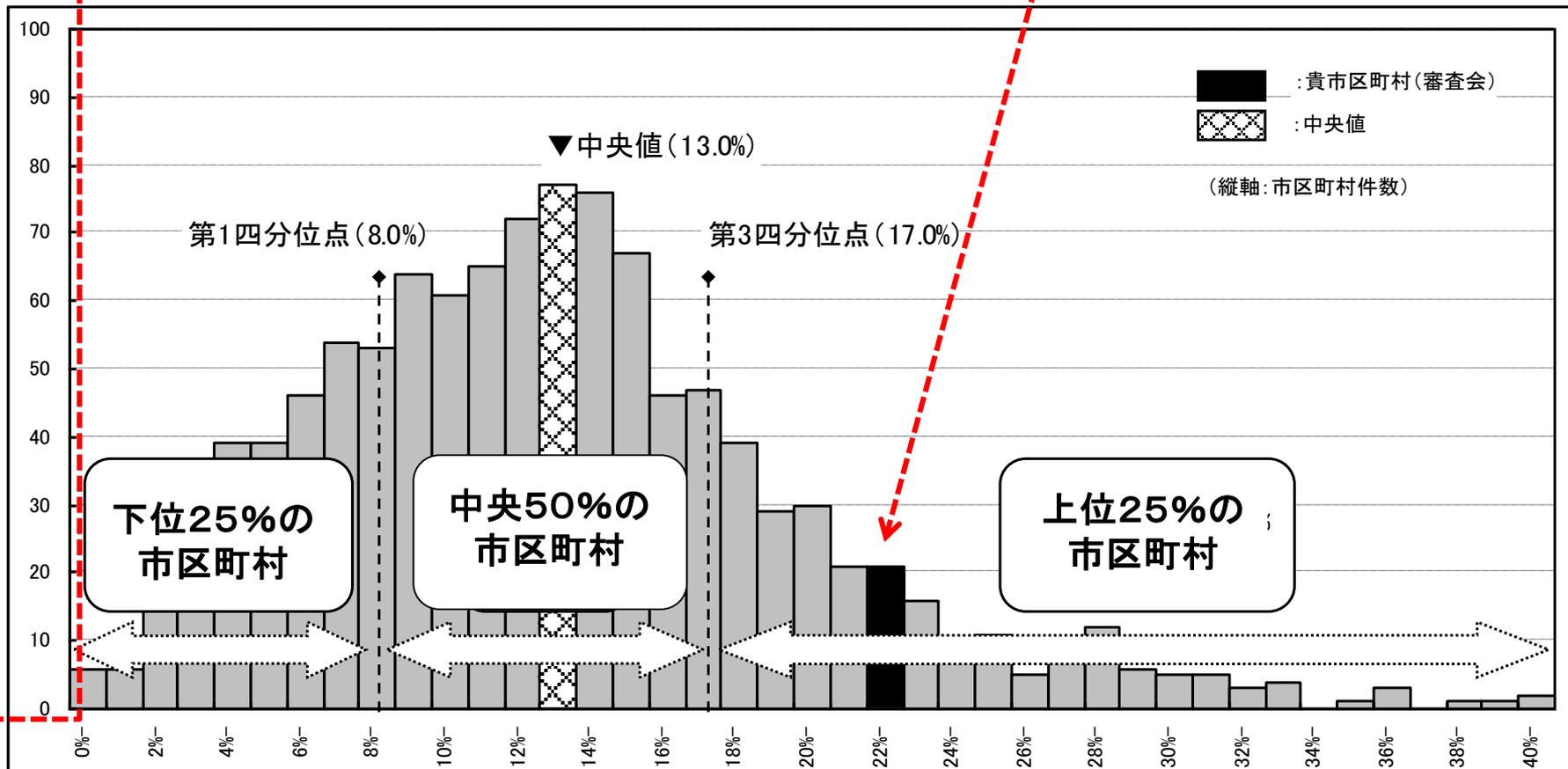
## □ IV.事務データ

- 申請件数及び事務処理期間
-

# 「ヒストグラム」の見方

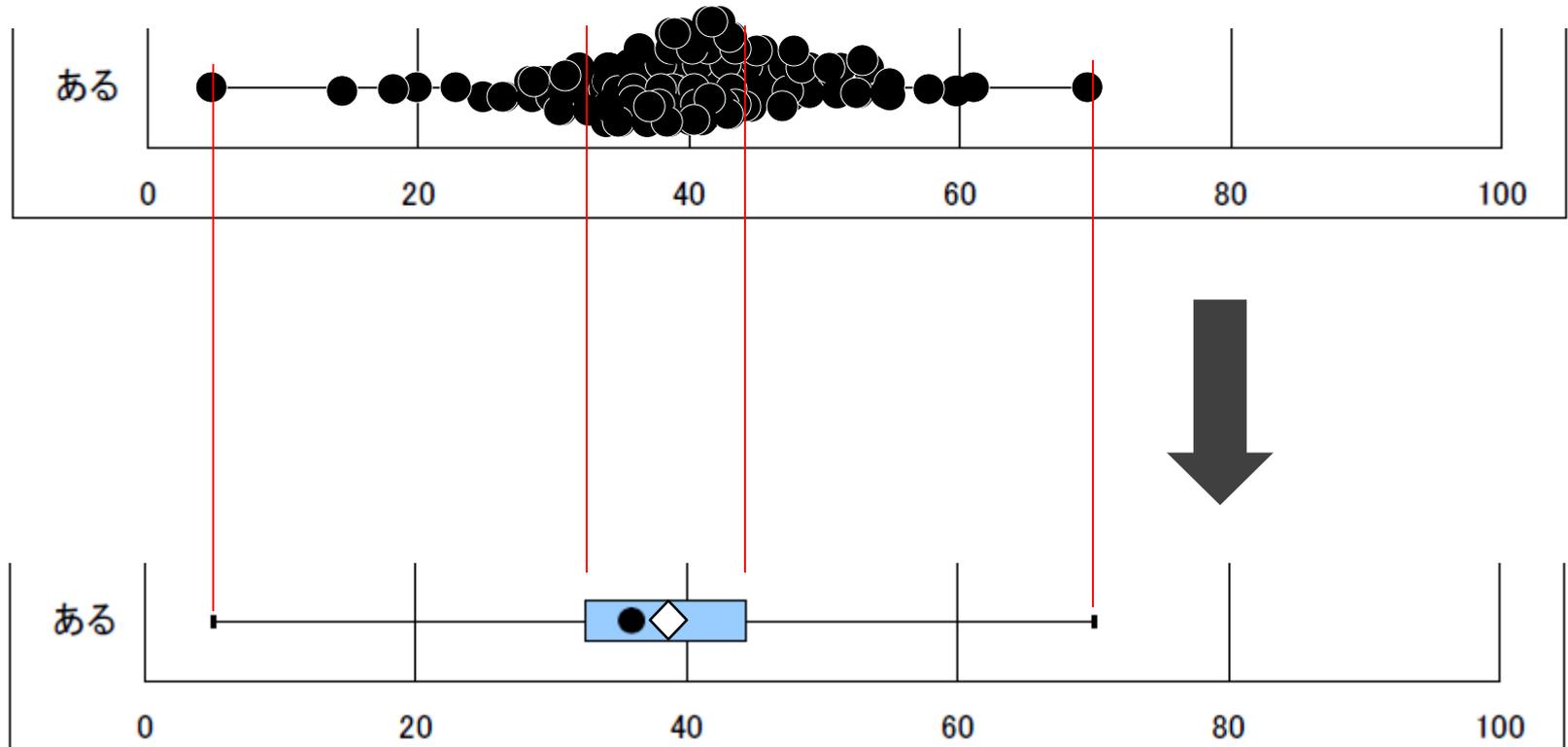
市区町村数

貴市区町村の選択率の位置を表示

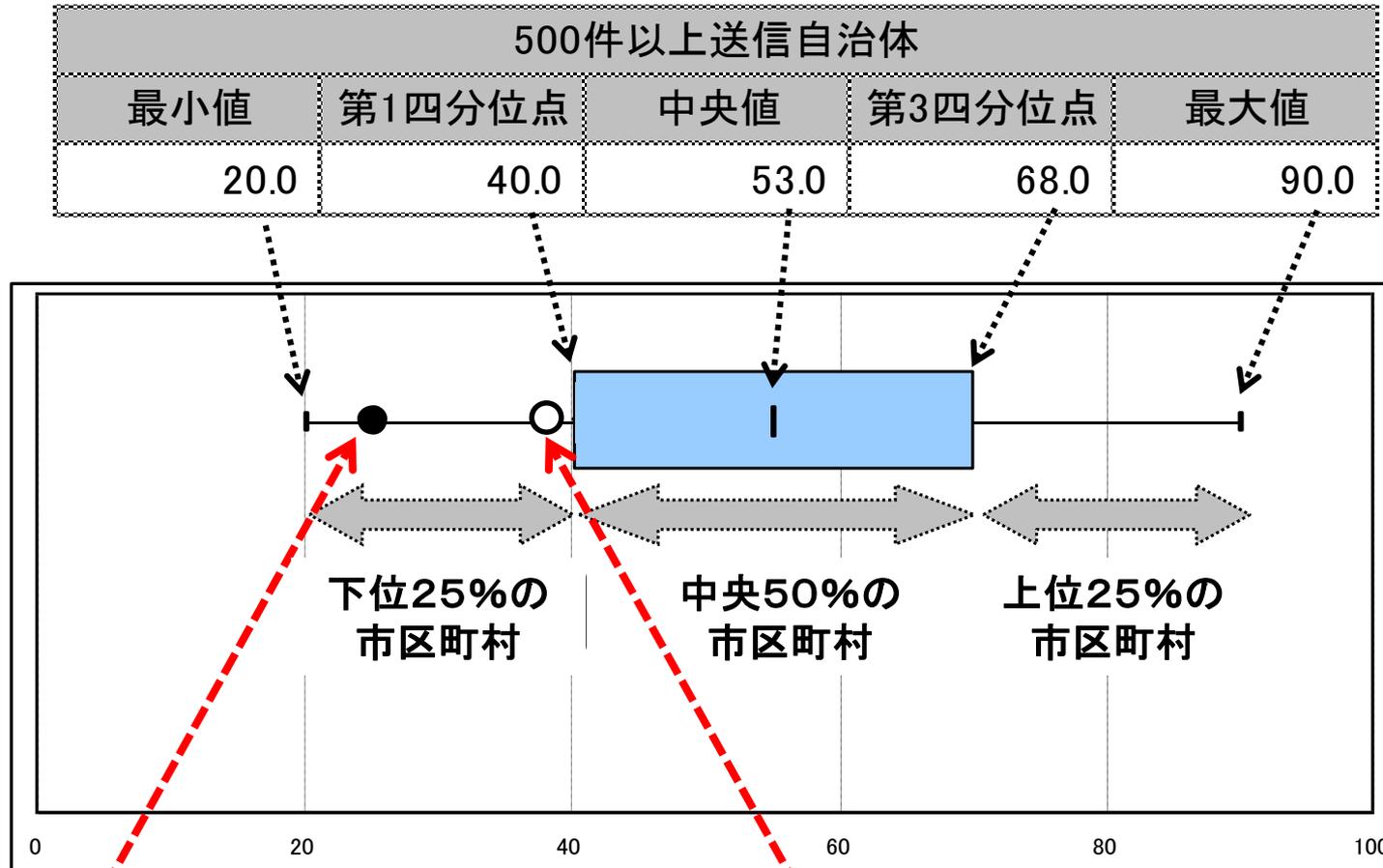


# 「箱ひげ図」の見方(1)

● = ある自治体における選択肢の選択率



# 「箱ひげ図」の見方(2)



貴市区町村の選択率の位置を表示

貴都道府県の選択率の位置を表示

# 「認定調査項目」のグラフの見方

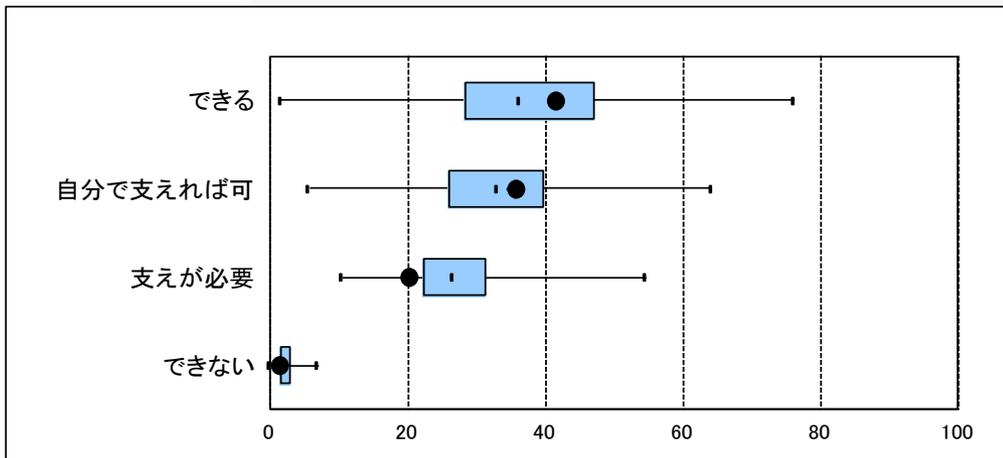
市区町村、都道府県、全国の「件数」と「選択率」を表示

各選択項目の「箱ひげ図」の情報を表示

参考情報として、「市区町村の年齢構成」を、「全国の年齢構成」に補正した場合の「件数」と「選択率」を表示

| 選択肢      | A市    |       | A県     |       | 全国        |       |
|----------|-------|-------|--------|-------|-----------|-------|
| できる      | 5,692 | 41.8% | 18,480 | 43.1% | 1,111,281 | 36.3% |
| 自分で支えれば可 | 4,904 | 36.0% | 14,695 | 34.3% | 1,052,208 | 34.3% |
| 支えが必要    | 2,789 | 20.5% | 8,972  | 20.9% | 833,146   | 27.2% |
| できない     | 226   | 1.7%  | 681    | 1.6%  | 67,289    | 2.2%  |

| 【補正選択率】 |       |
|---------|-------|
| 5,687   | 41.8% |
| 4,891   | 35.9% |
| 2,803   | 20.6% |
| 230     | 1.7%  |



| 500件以上送信自治体 |        |      |        |      |
|-------------|--------|------|--------|------|
| 最小値         | 第1四分位点 | 中央値  | 第3四分位点 | 最大値  |
| 1.6         | 28.5   | 36.3 | 47.2   | 76.3 |
| 5.7         | 26.0   | 33.1 | 39.6   | 64.3 |
| 10.5        | 22.4   | 26.7 | 31.4   | 54.7 |
| 0.0         | 1.4    | 2.1  | 2.9    | 7.0  |

# 一次判定、選択率からみる業務分析データ(1)

---

## □ 一次判定結果、選択率の偏りには、2つの可能性が想定される

### ①調査方法・判断基準の偏り

- 認定調査におけるローカルルールによる偏り
  - 適切な介助の方法の判断による偏り
  - 調査の選択基準に関する誤解など
- ※ 偏りが特定の項目に限定される場合に多くみられる。

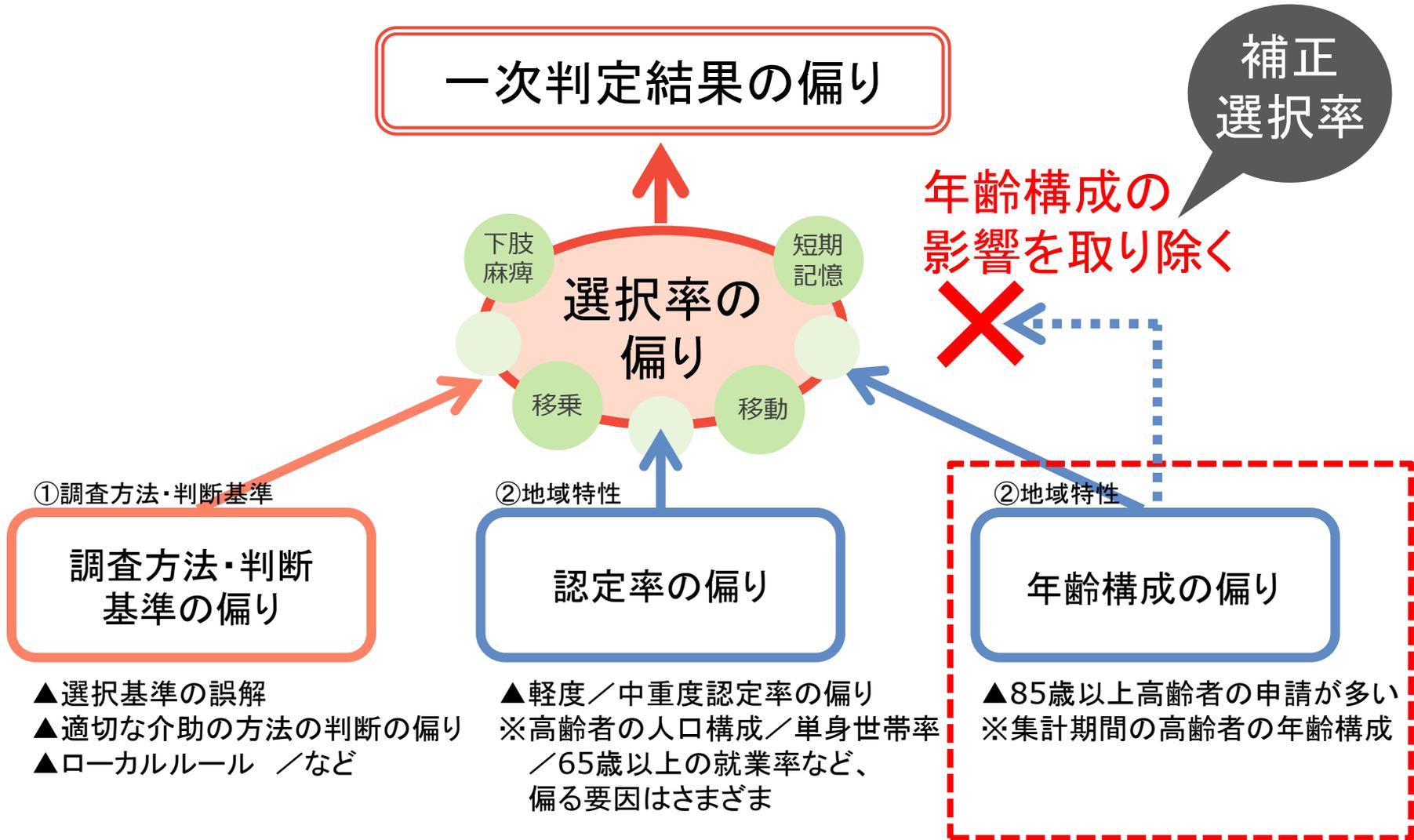
### ②地域特性による偏り

- 集計期間中の年齢構成(≒人口構成)に偏りが見られる場合
  - 認定率に偏りが見られる場合(認定率は軽度と中重度を分けて考える)
    - 高齢者内の年齢構成／単身世帯率／65歳以上就労率など様々な要因が影響を与えることが分かっている。
- ※ 偏りが特定の項目に限定されず、多くの調査項目で共通傾向がみられる場合に多くみられる。

※偏りがない場合:自治体内の判断基準のばらつきがないことを証明するものではない点に留意。

---

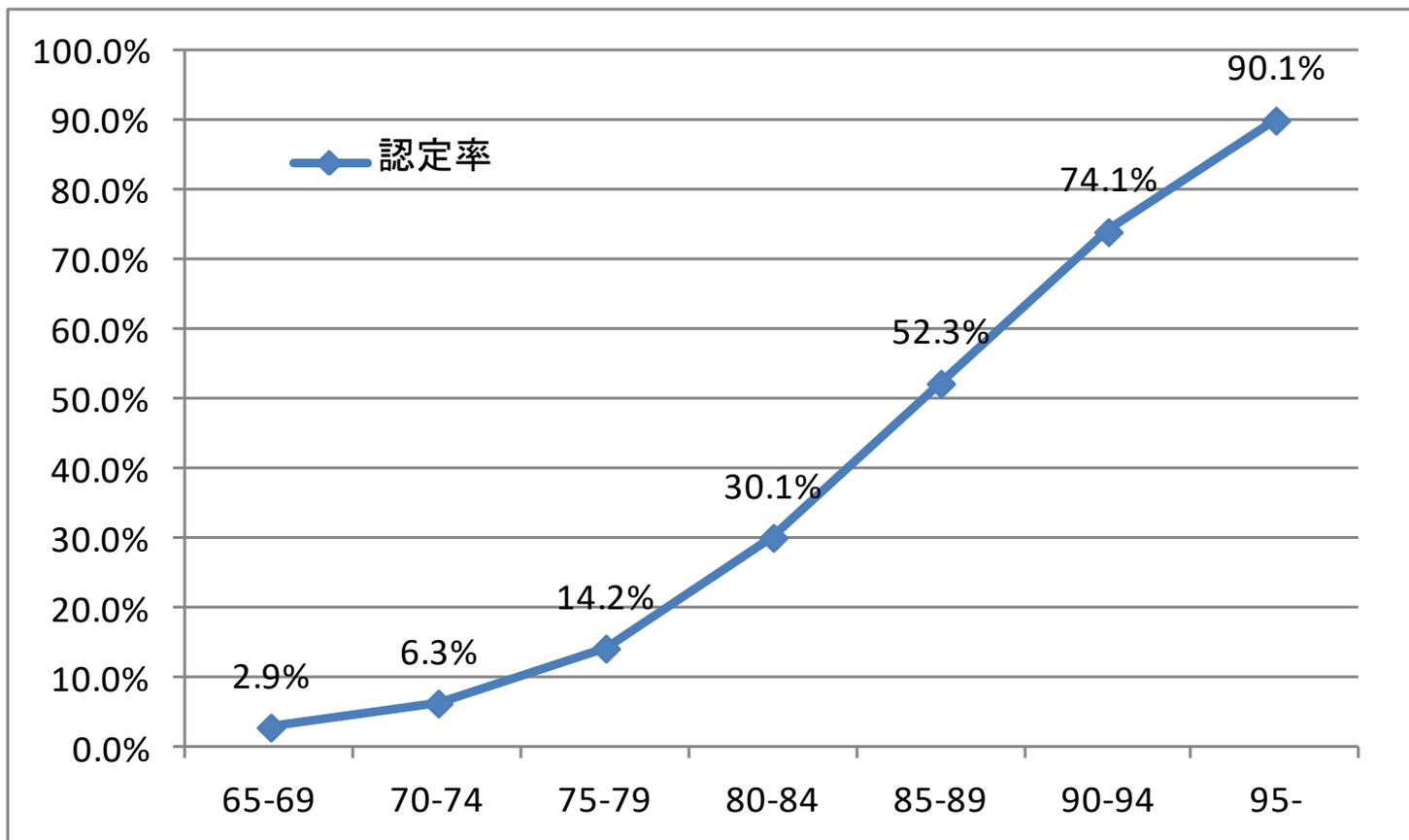
# 一次判定、選択率からみる業務分析データ(2)



## 「②地域特性」 年齢と認定率の関係

### □ 年齢区分が高くなるほど、認定率は高くなる

⇒75歳以上、85歳以上の高齢者が多い市区町村ほど、認定率は高くなる傾向



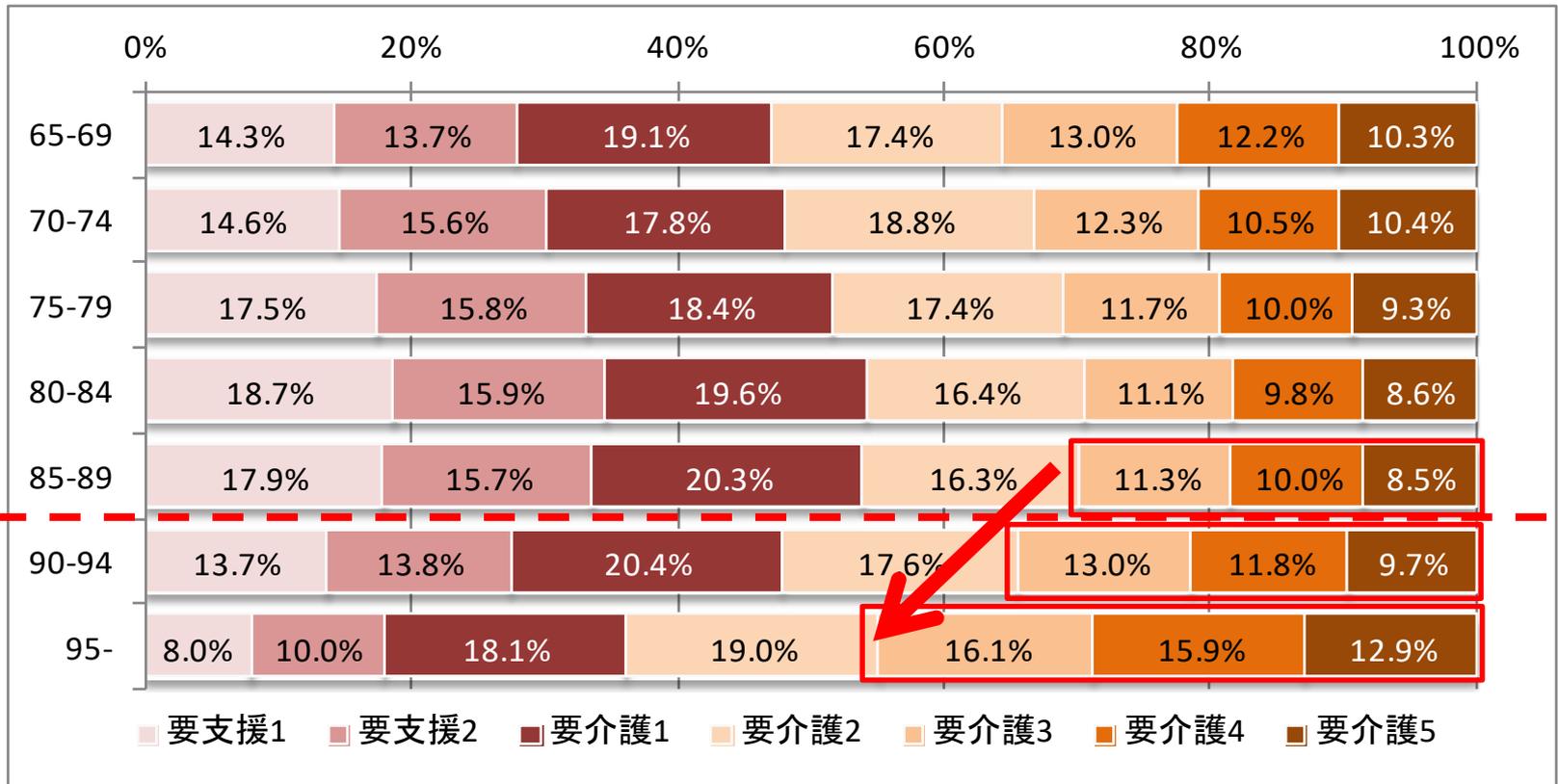
※認定者数:介護給付費実態調査(H26.12)

※年齢区分別人口:住民基本台帳年齢階級別人口(H27.1.1)

# 「②地域特性」 年齢と要介護度区分の関係

- 90歳以上では、年齢区分が高くなるほど、要介護度の高い割合が大きくなる

⇒90歳以上の高齢者が多い市区町村では、要介護度の高い認定者が多くなる傾向



※認定者数:介護給付費実態調査(H26.12)

※年齢区分別人口:住民基本台帳年齢階級別人口(H27.1.1)

## 「②地域特性」 認定率と各指標の関係

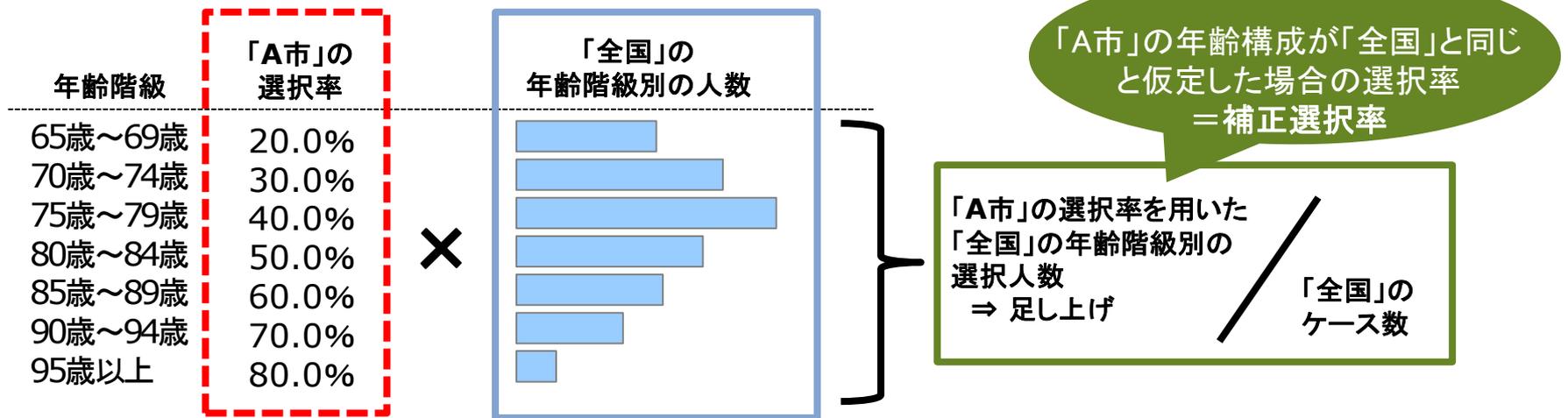
### □ 認定率は、様々な要因が影響を与えている

|                                      | 認定率     | 認定率<br>(要支援1・2) | 認定率<br>(要介護1～5) |
|--------------------------------------|---------|-----------------|-----------------|
| 後期高齢化率                               | 0.653** | 0.270           | 0.800**         |
| 65歳以上単身世帯率                           | 0.402** | 0.604**         | 0.112           |
| 65歳以上就業率                             | -0.341* | -0.483**        | -0.121          |
| シルバー人材センター会員率                        | -0.239  | -0.336*         | -0.087          |
| ボランティア行動率(65歳以上)<br>健康や医療サービスに関係した活動 | -0.261  | -0.158          | -0.277          |
| ボランティア行動率(65歳以上)<br>高齢者を対象とした活動      | -0.055  | -0.082          | -0.016          |
| 生活保護被保護高齢者率                          | 0.322*  | 0.487**         | 0.088           |
| 訪問介護事業所数(高齢者1万人当たり)                  | 0.537** | 0.669**         | 0.270           |
| 訪問看護事業所数(高齢者1万人当たり)                  | 0.442** | 0.436**         | 0.323*          |
| 通所介護事業所数(高齢者1万人当たり)                  | 0.344*  | 0.165           | 0.402**         |
| 通所リハ事業所数(高齢者1万人当たり)                  | 0.592** | 0.479**         | 0.523**         |
| 軽度変更率                                | 0.173   | 0.332*          | -0.014          |
| 重度変更率                                | -0.062  | 0.060           | -0.151          |

※ \*\*: 相関係数は 1% 水準で有意 (両側) \* : 相関係数は 5% 水準で有意 (両側)  
出典) 平成25年度要介護認定適正化事業報告書

# 【参考】年齢構成の影響を取り除いた補正值

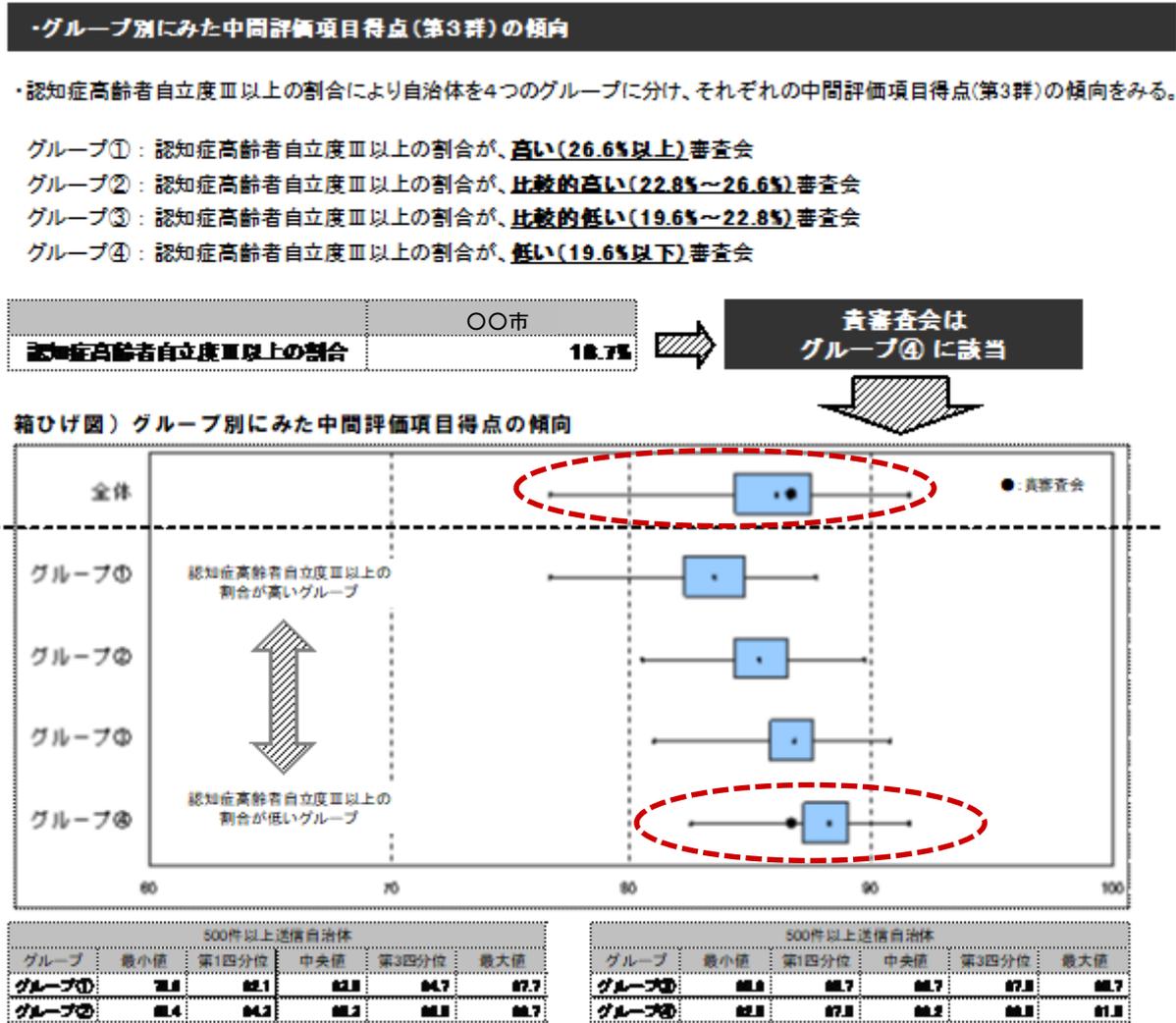
- 「②地域特性」のうち、市区町村の年齢構成による影響を取り除いた補正值を参考情報として提示
- 補正值の算出方法(※選択率の場合)
  - ・ 「A市」の年齢階級別(5歳刻み)の選択率を算出(65歳～95歳以上)
  - ・ 「全国」の年齢階級別の「人数」に、「A市」の年齢階級別の「選択率」を乗じる  
⇒「A市」の選択率を用いた「全国」の年齢階級別の選択人数が算出される
  - ・ 上記年齢階級別の選択人数を足し上げ、選択人数の総数を算出し、調査対象期間中の「全国」のケース数にて除する  
⇒「全国」の年齢構成で補正された「市区町村」の補正選択率が算出される



# 【参考】自立度に基づく中間評価項目得点の補正評価

## 【自立度に基づく補正】

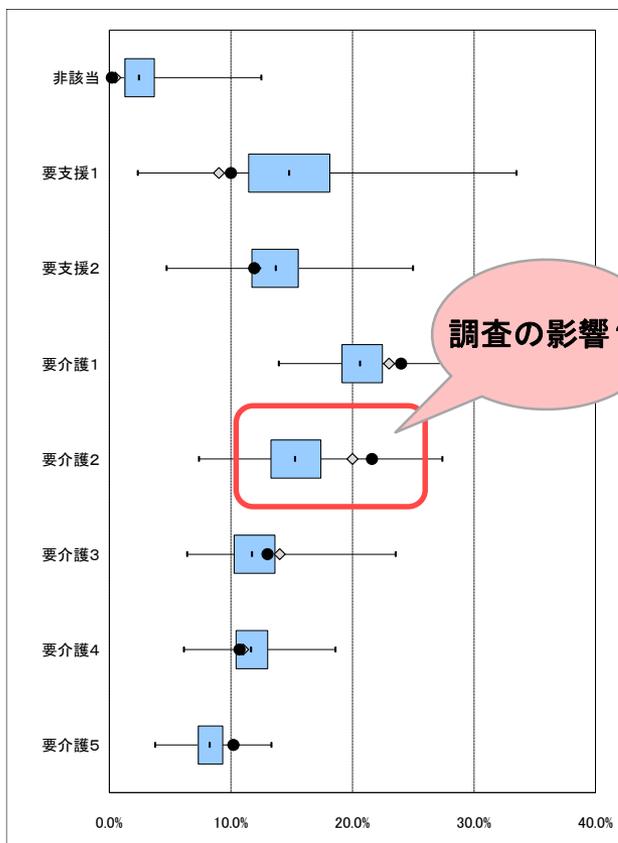
- 第4群以外の各群においては、障害高齢者または認知症高齢者の「日常生活自立度」と「中間評価項目得点」の間に一定の関係性が認められることから、参考値として表示。
- 右図は、全自治体の中でみると第3群の中間評価項目得点は標準的であるが、「認知症自立度のⅢ以上の割合が低い自治体」のみで見ると、当該自治体の中間評価項目得点は相対的に「低い」ことを示している。  
→全体として「箱」の中に「●」があっても、自立度の補正值による表示上は「箱の外」となる場合もある(右図)。



# 認定有効期間の影響の可能性

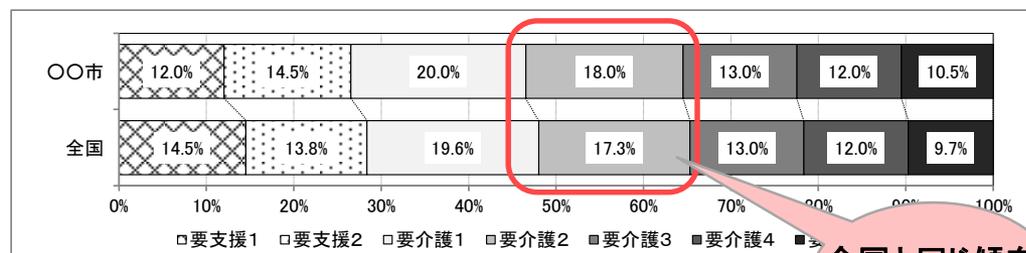
- 認定有効期間の設定が一次判定結果の出現率に影響を与えている可能性にも留意

【一次判定結果】(期間データ)



## ① 認定者に占める割合を確認(時点データ)

→ 調査の影響であれば、地域の「要介護2」認定者が多くなる傾向

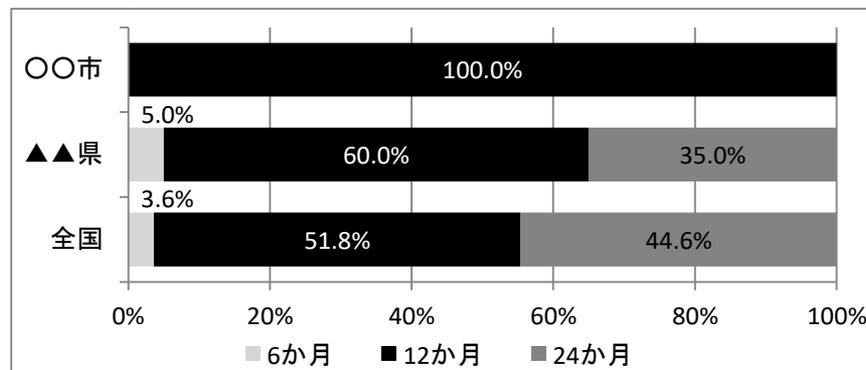


全国と同じ傾向であれば...

## ② 認定有効期間(要介護2)の設定状況を確認

→ 「12か月」を設定している割合が高い

→ 一定期間の申請者に対し、特定の要介護度区分の占める割合が高くなる



# 認定調査項目における分析の留意点

---

- 樹形モデルのどこに影響が生じるかについても検討の上、修正すべき調査項目の優先順位を検討する
    - 偏りが認められる調査項目が多い場合は、すべての調査項目の偏りの改善を目指さず、樹形モデルに影響を与えやすい項目から優先的に改善に取り込むのがポイント(調査員は一度にすべての調査項目の改善を進めるのは難しい)。
    - また、偏りが発生している選択肢(調査項目ではなく)を明確にし、どの要介護度区分において影響が出やすいのかについて樹形図を用いて、おおよその範囲を想定しておく。
-

# 認定調査の見直し事例(自治体A)

## 見直し前の調査方法・判断基準

### 下肢麻痺

- (挙上角度)テキストのイラストにあるような水平までの下肢の挙上を基準にしていた
- (静止状態)下肢の震えなどがみられる場合は、「麻痺あり」と判断していた可能性がある
- (確認動作)下肢を水平位置に挙上するために、もたれている場合、「麻痺あり」と判断していた

### 短期記憶

- 3品提示を毎回実施していた

### — 2014年時点での選択率 —

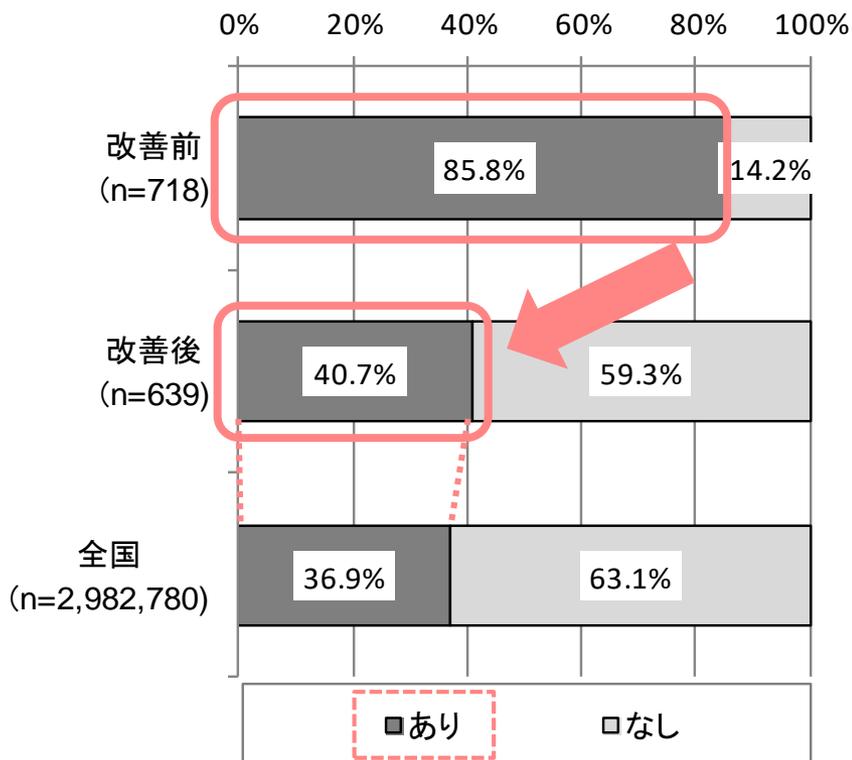
- 「1-1麻痺等の有無(下肢)」(左)の「あり」  
平均値+2σ以上 (85.8%)
- 「1-1麻痺等の有無(下肢)」(右)の「あり」  
平均値+2σ以上 (87.3%)
- 「3-4短期記憶」の「できない」の選択率  
平均値+σ以上 (51.9%)

都道府県研修の受講をきっかけに、認定調査の見直しとして、

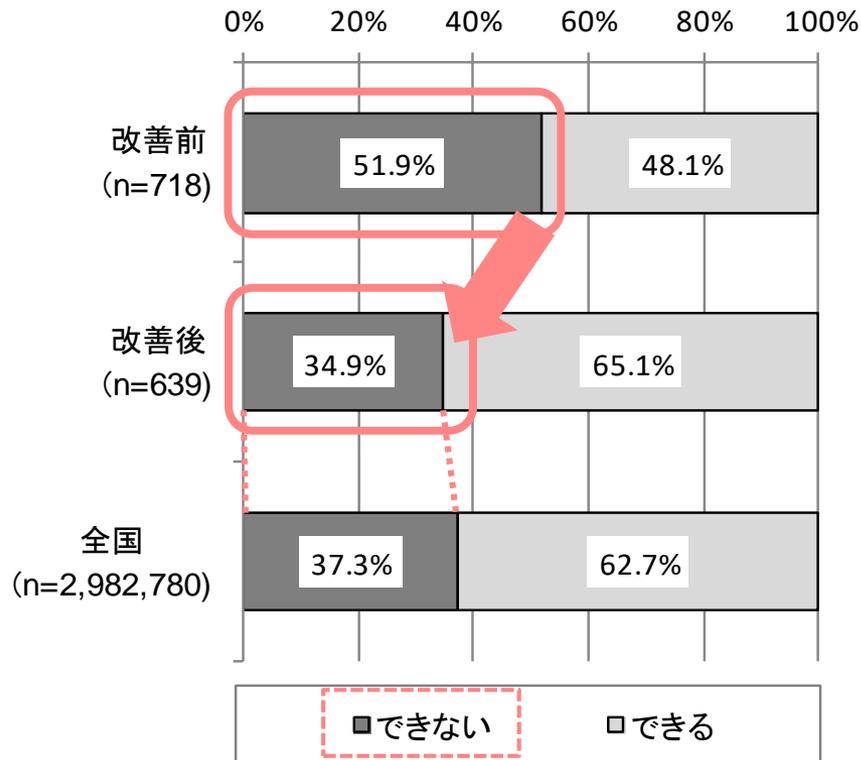
- ◆ 調査方法に係る意見交換会を実施
- ◆ 認定調査員の退職・新規雇用により多くの調査員が入れ替わったため、新たな調査体制で調査方法や判断基準等を共有

# 認定調査の見直し事例(自治体A) – 選択率の変化

認定調査の見直しによる  
「下肢麻痺(左)」の選択率の変化



認定調査の見直しによる  
「短期記憶」の選択率の変化



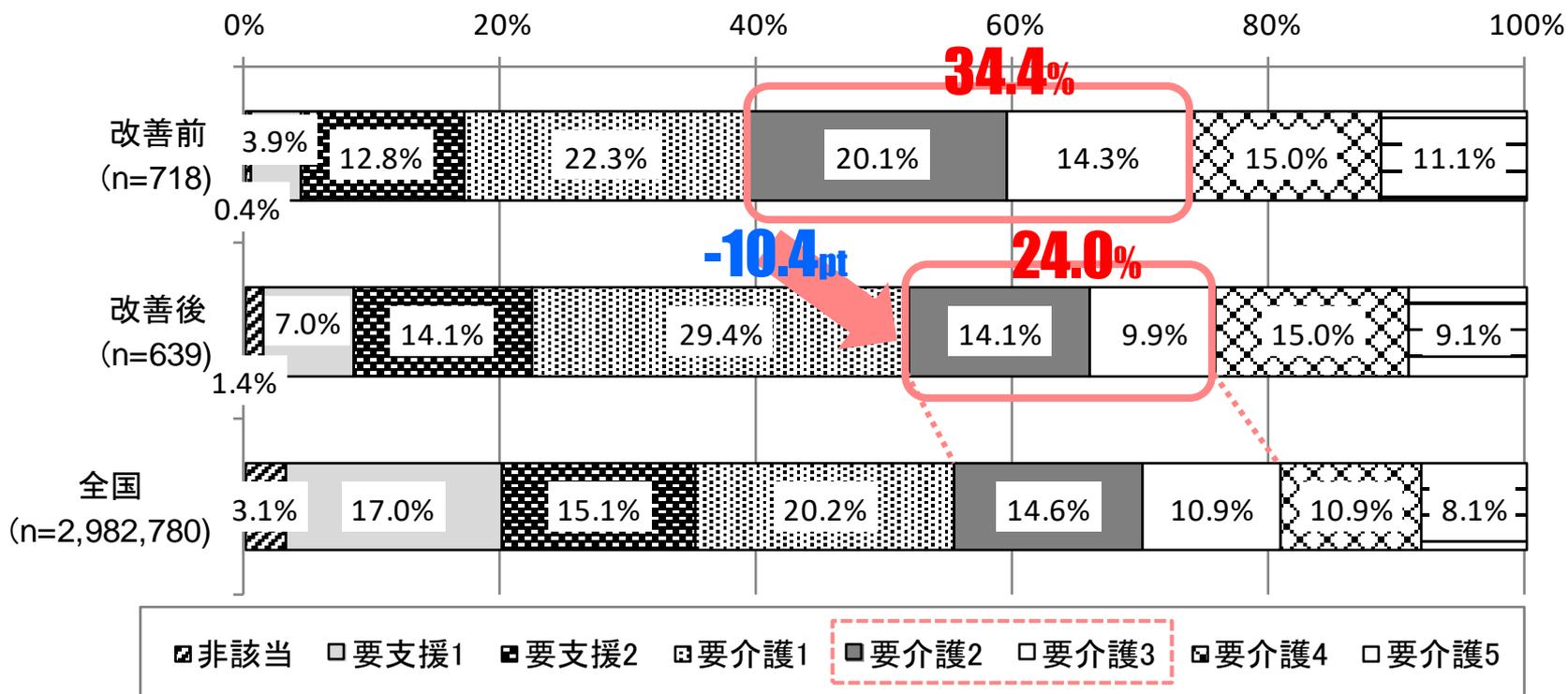
「下肢麻痺(左)」の「あり」、「短期記憶」の「できない」の選択率が  
全国と同水準まで低下

※下肢麻痺(右)もほぼ同様の变化を示した

※「要介護認定における主治医意見書の実態把握と地域差の要因分析に関する調査研究事業」  
(平成27年度老人保健健康増進等事業)より

# 認定調査の見直し事例(自治体A) – 要介護度分布の変化

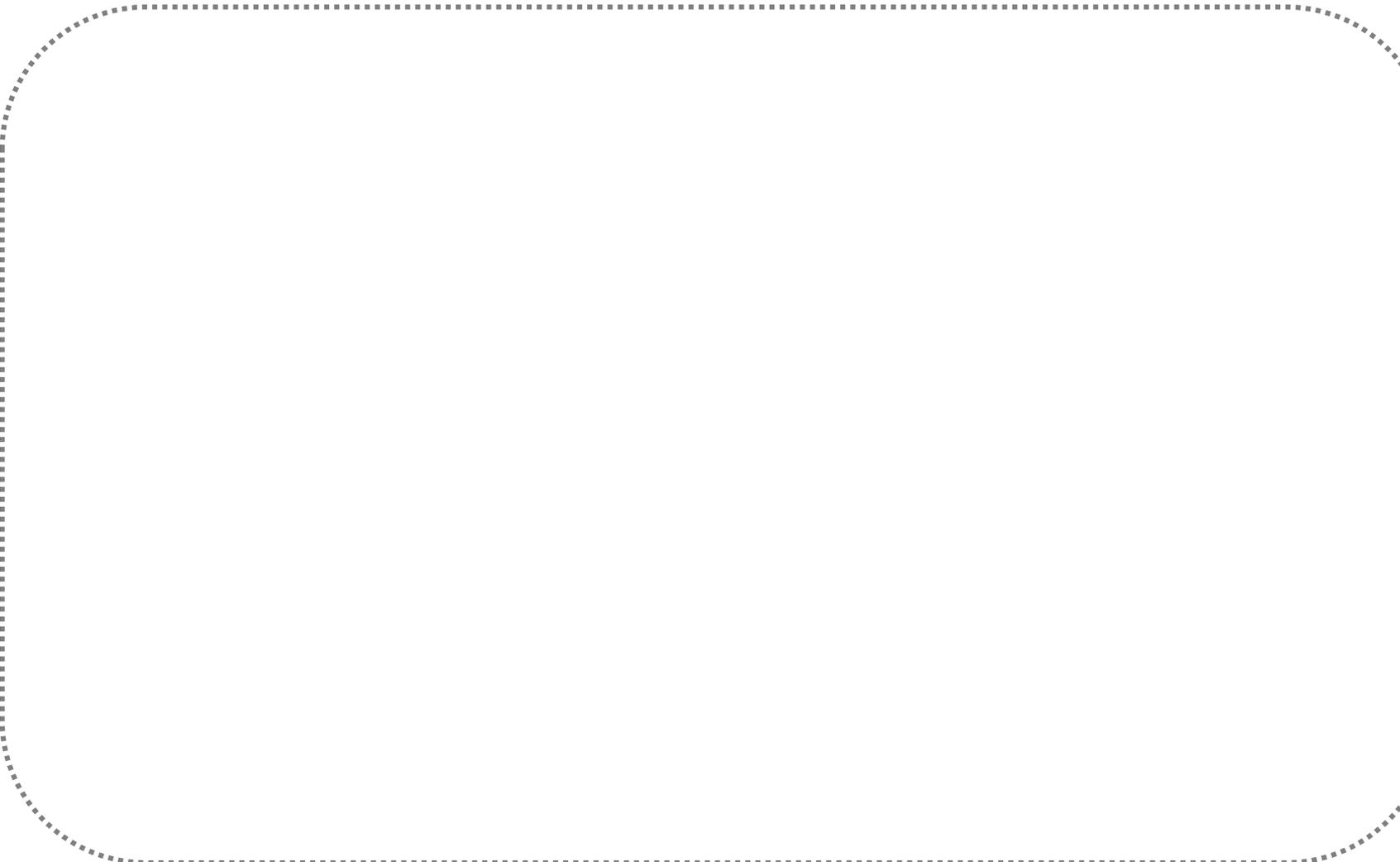
## 認定調査の見直しによる一次判定の要介護度分布の変化



要介護2、要介護3の出現率が、全国と同水準まで低下

# MEMO

---



---

# 演習

## STEP1

- ・ **一次判定の分布特性を確認**（1. 基礎情報(5)一次判定結果）
- ・ 特定の区分に偏り／全体的に軽度化・重度化の傾向

## STEP2

- ・ **人口構造や認定率など基本的な地域状況を確認**

## STEP3

- ・ **中間評価項目得点を参照し、各群の偏りを確認(補正值も参照)**

## STEP4

- ・ **各群の基本調査項目の選択率を確認。**
- ・ 特定の調査項目のみに偏り／群内の調査項目全体に同様の偏り

## STEP5

- ・ **地域のサービス供給の状況について確認**

# STEP1: 一次判定の分布特性を確認

---

## □ 業務分析データP96

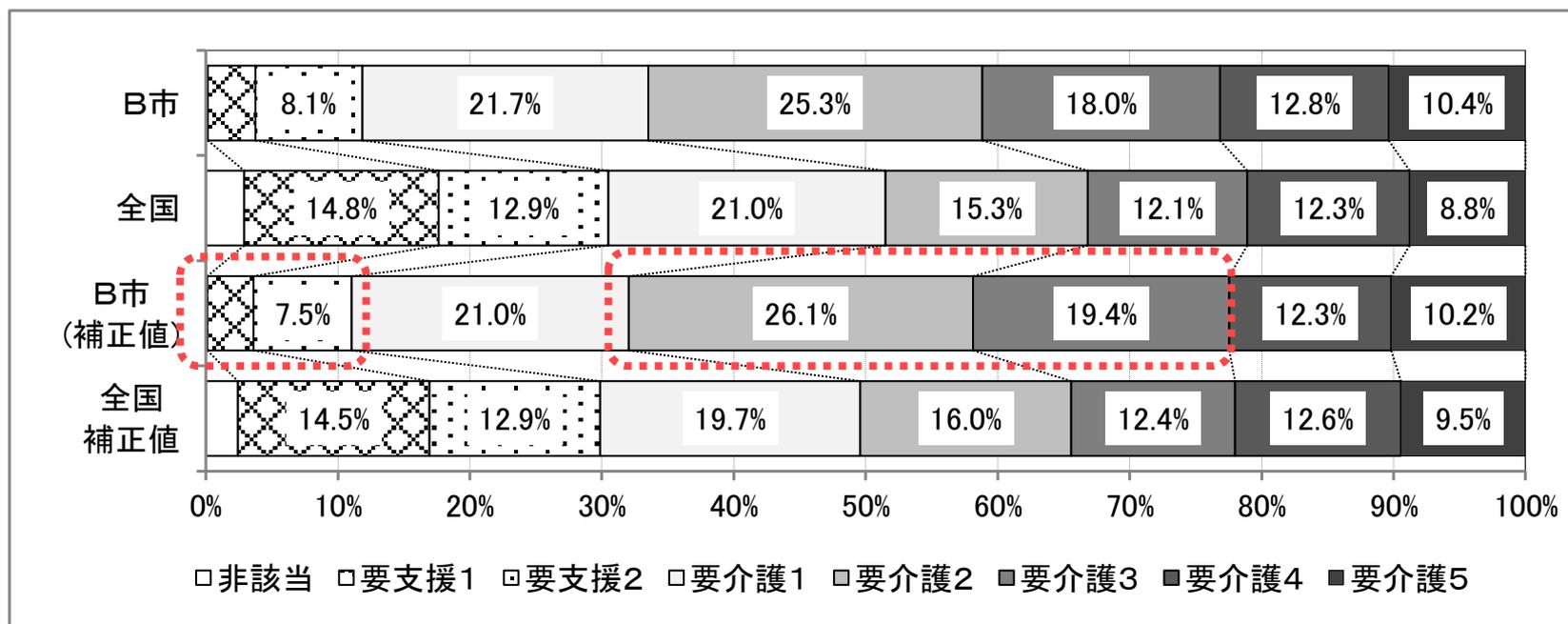
### I. 基礎情報

#### > (5) 一次判定結果

- 帯グラフにおいて、全国との分布の比較
  - 箱ひげ図において、要介護度別の偏りの程度を比較
-

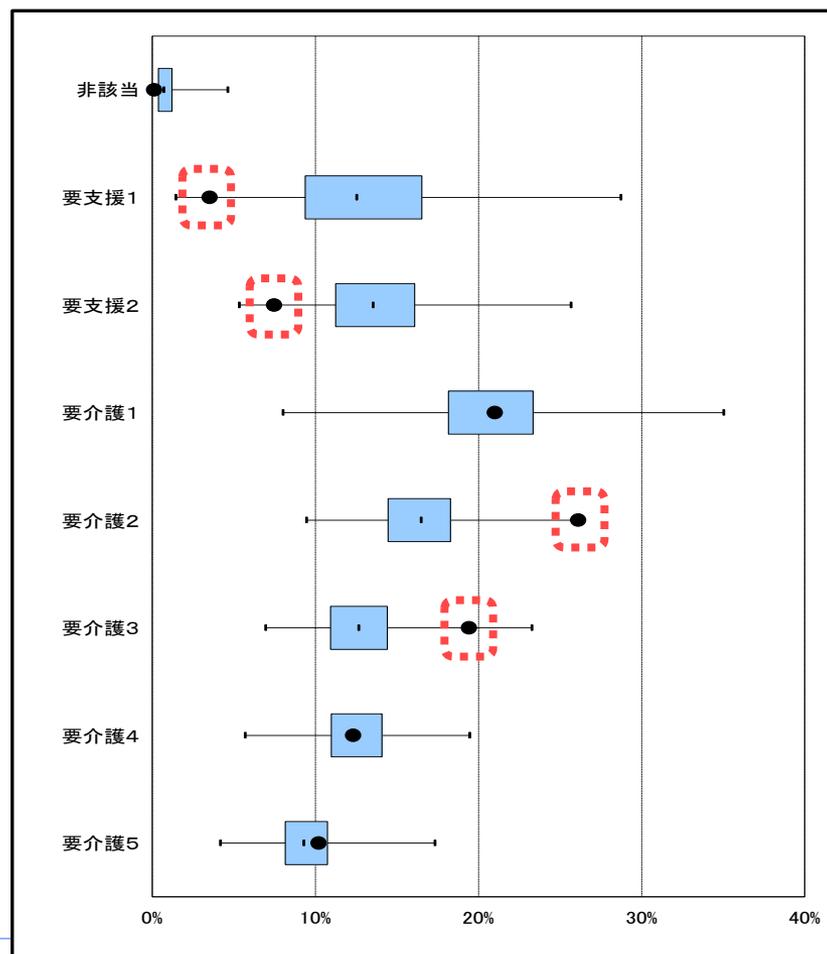
# STEP1: 一次判定の分布特性を確認

## □ 一次判定結果



# STEP1: 一次判定の分布特性を確認

## □ 一次判定結果(有効期間・年齢補正あり)



## STEP2: 基本的な地域状況を確認

---

### □ 業務分析データP90~95

#### I. 基礎情報

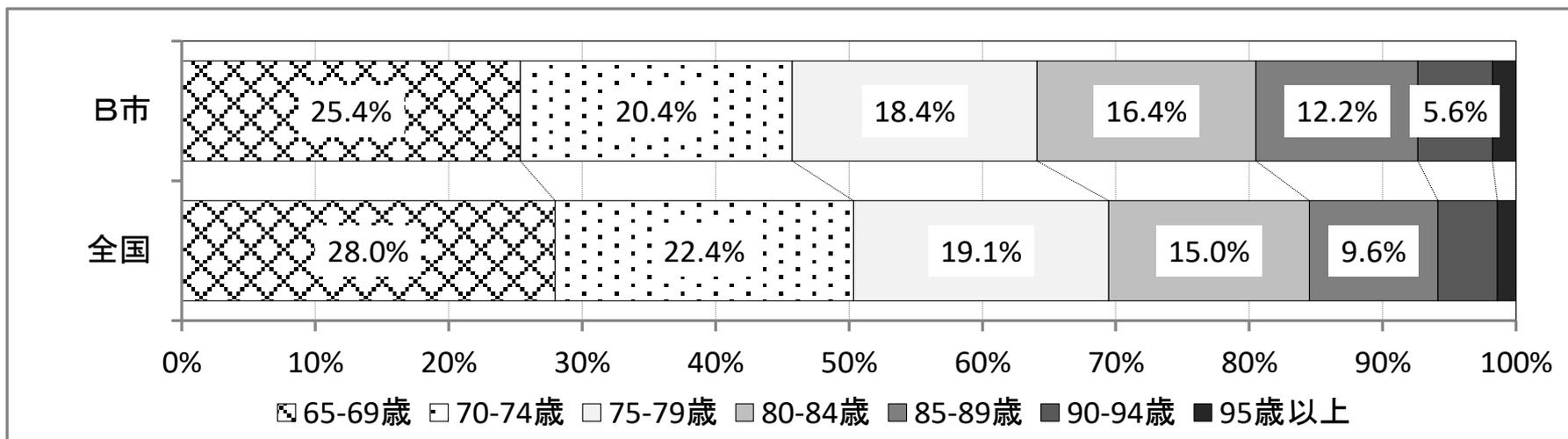
> (1) 人口構成

> (2) 認定率

- 第1号被保険者の中の年齢構成
  - 認定率
  - 軽度認定率、中・重度認定率
-

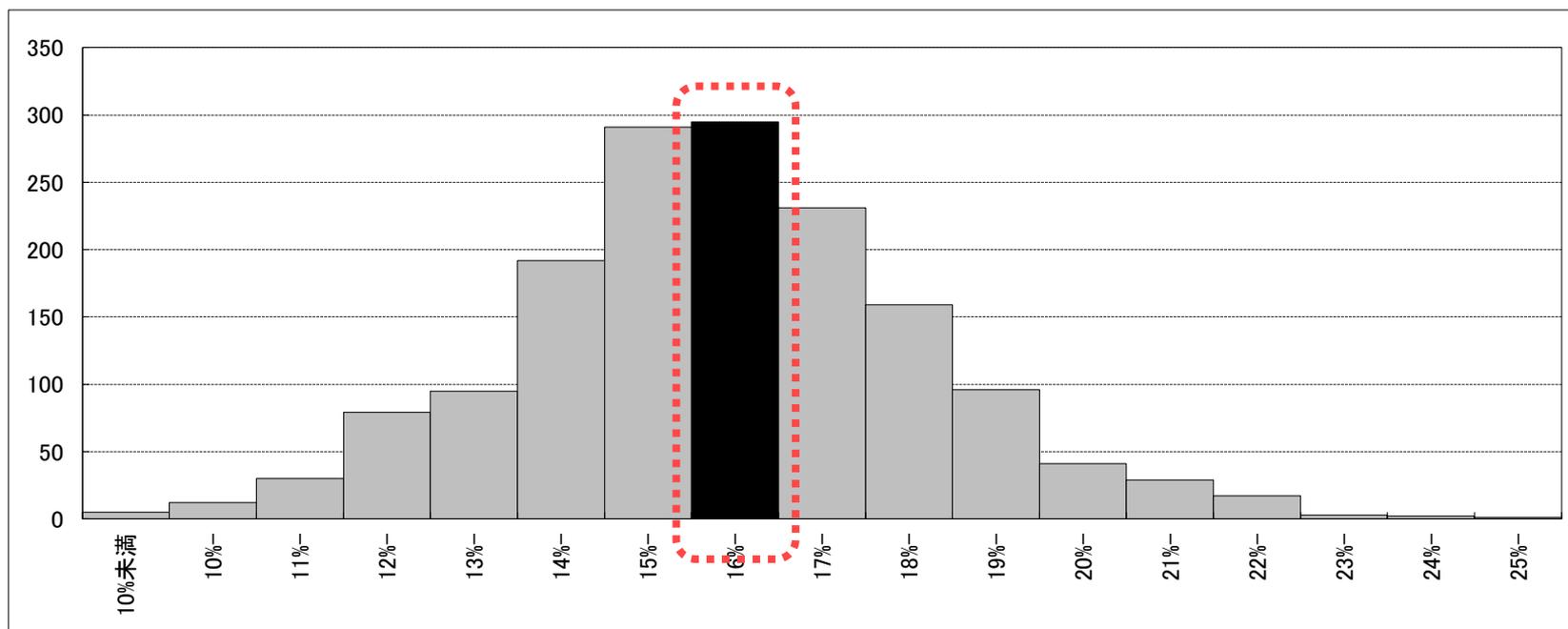
# STEP2: 基本的な地域状況を確認

## □ 65歳以上人口に占める割合（年齢区分別）



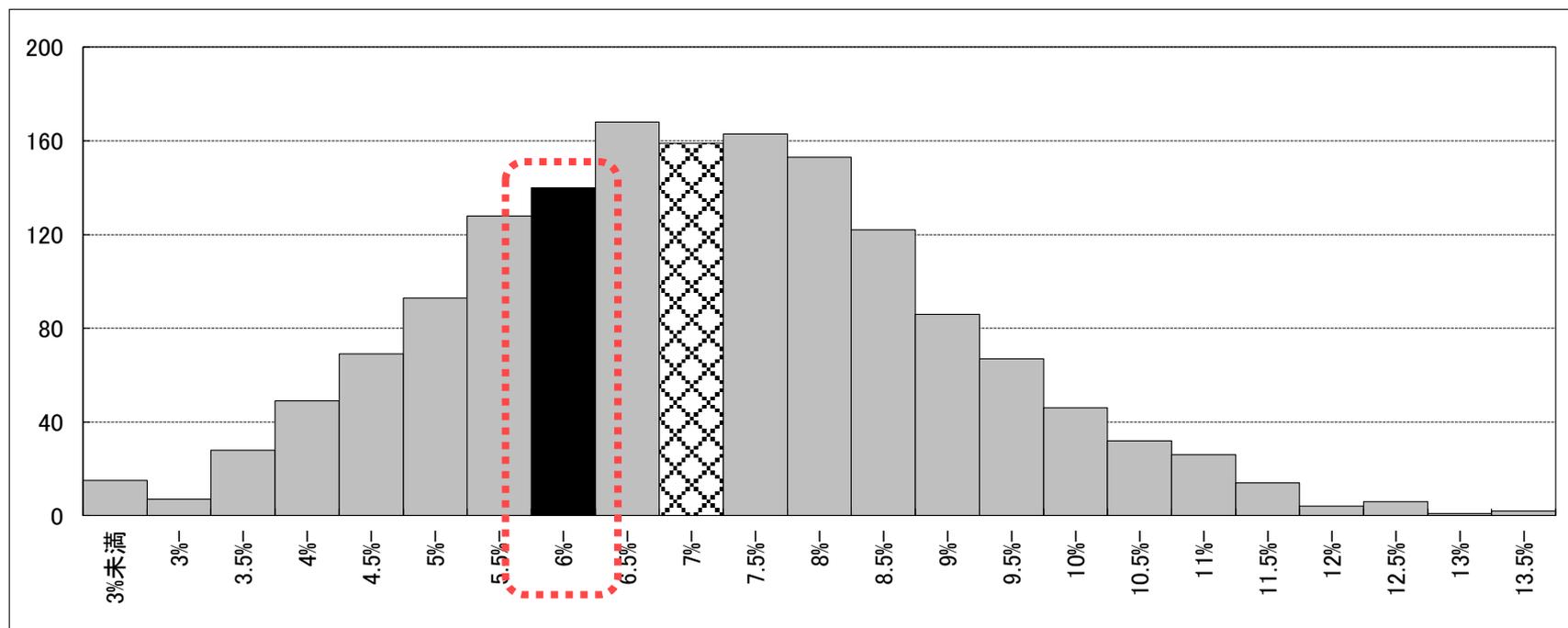
# STEP2: 基本的な地域状況を確認

## □ 認定率(年齢補正值)



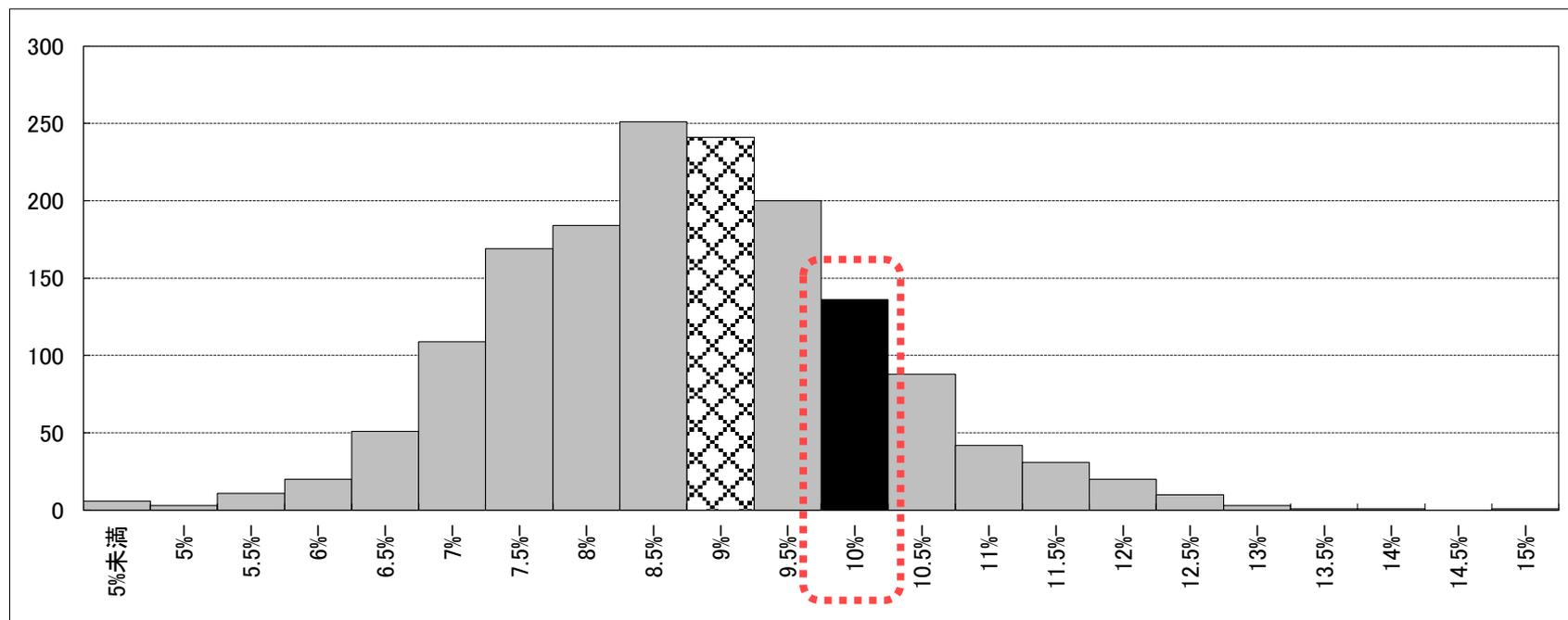
# STEP2: 基本的な地域状況を確認

□ 軽度認定率（要支援1・2、要介護1）（年齢補正值）



# STEP2: 基本的な地域状況を確認

## □ 中・重度認定率(要介護2~5) (年齢補正值)



# STEP3: 中間評価項目得点を確認

---

## □ 業務分析データP100~122

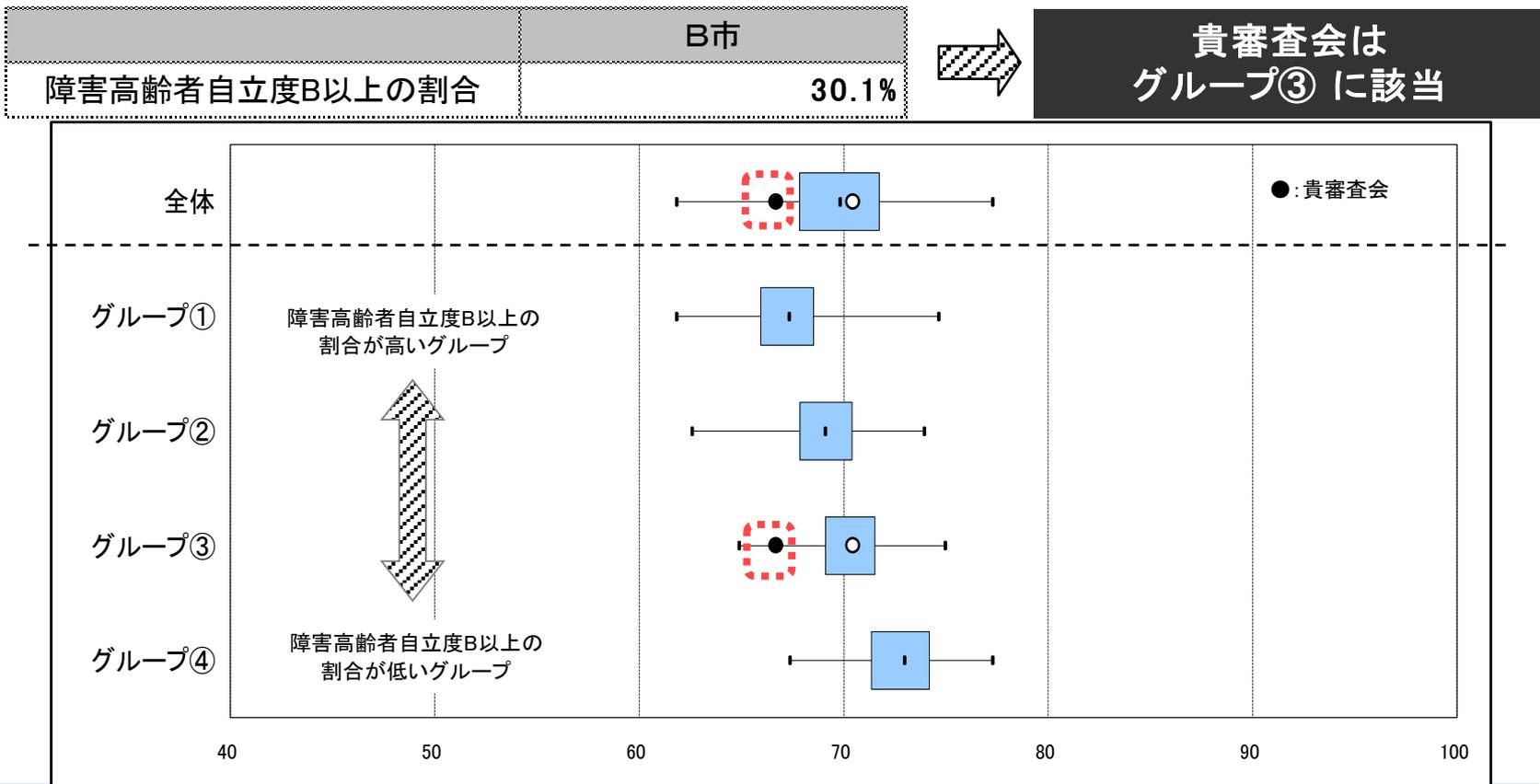
### Ⅱ. 調査項目データ

#### > (1) 中間評価項目得点

- 全国の分布からの偏りの状況
  - 自立度のグループ別に見た中間評価項目得点の傾向(4群以外)
-

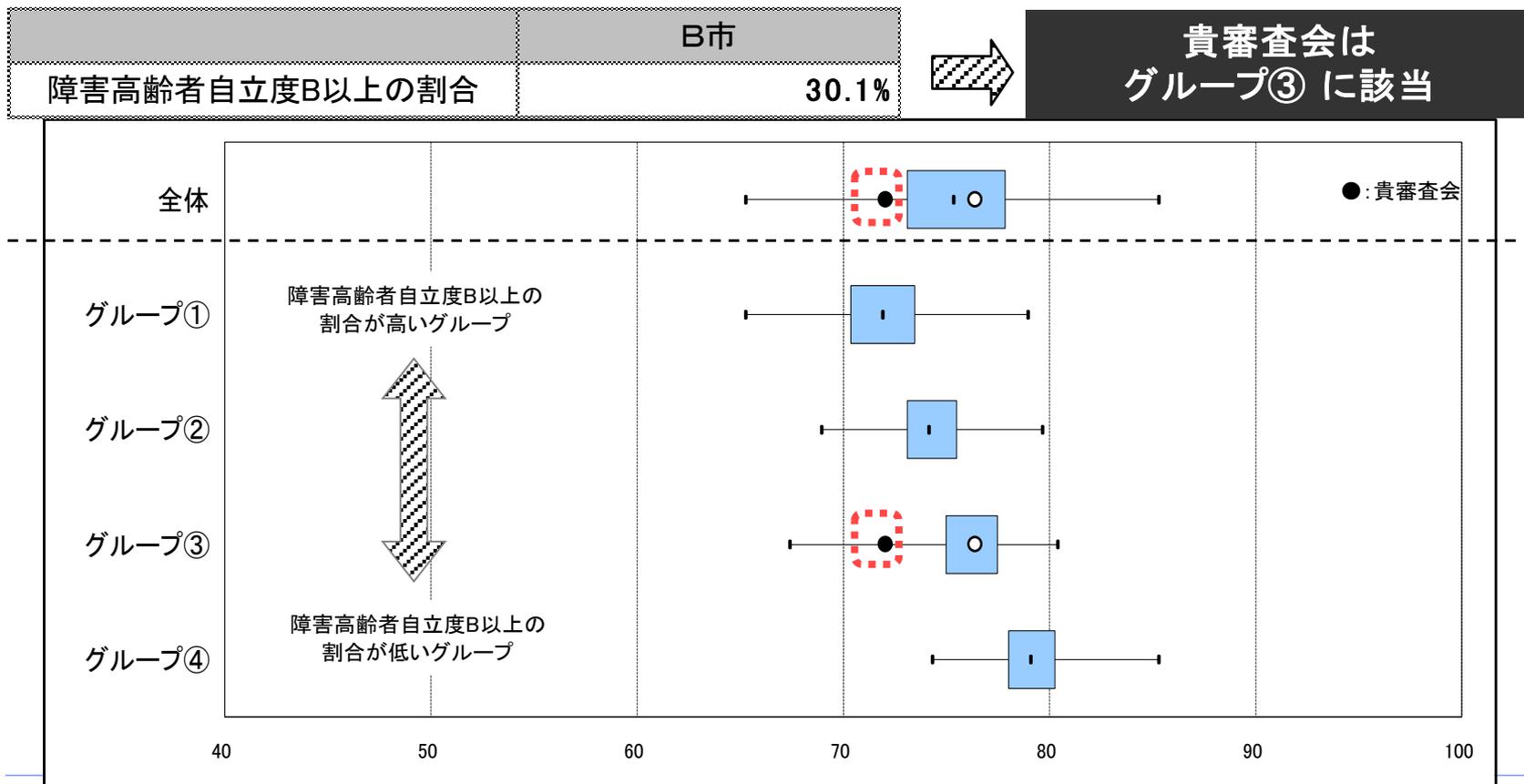
# STEP3: 中間評価項目得点を確認

## □ グループ別にみた中間評価項目得点(第1群)の傾向



# STEP3: 中間評価項目得点を確認

## □ グループ別にみた中間評価項目得点(第2群)の傾向



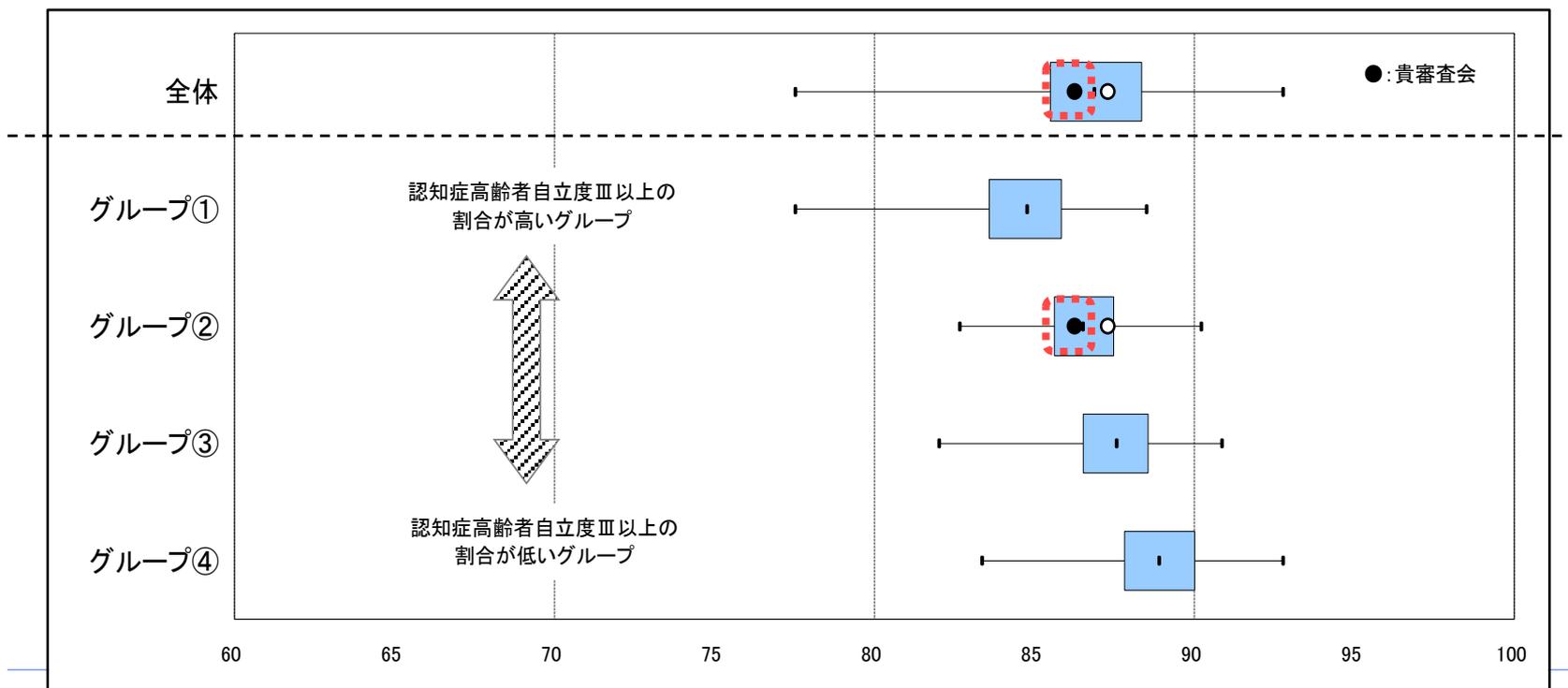
# STEP3: 中間評価項目得点を確認

## □ グループ別にみた中間評価項目得点(第3群)の傾向

|                 | B市    |
|-----------------|-------|
| 認知症高齢者自立度Ⅲ以上の割合 | 24.1% |



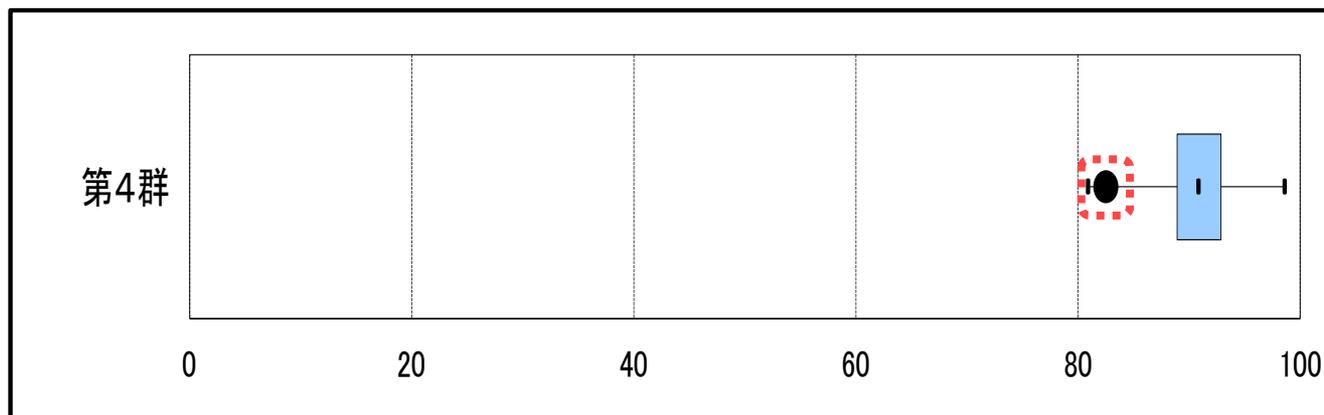
貴審査会は  
グループ②に該当



# STEP3: 中間評価項目得点を確認

## □ 中間評価項目得点(第4群)

※4群は自立度のグループ別分析の対象外



中間評価項目得点第4群(有効期間・年齢補正あり)

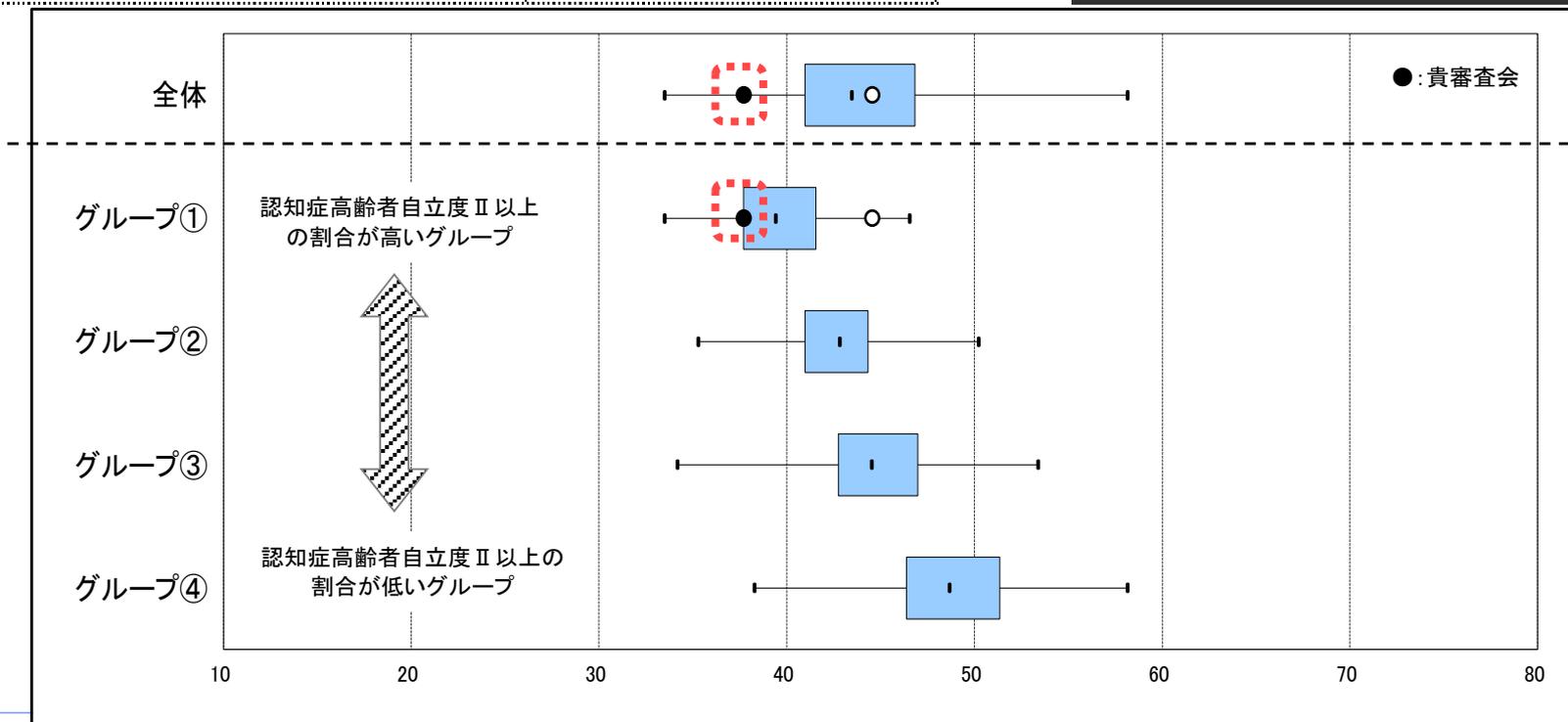
# STEP3: 中間評価項目得点を確認

## □ グループ別にみた中間評価項目得点(第5群)の傾向

|                 | B市    |
|-----------------|-------|
| 認知症高齢者自立度Ⅱ以上の割合 | 69.9% |



貴審査会は  
グループ①に該当



# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

---

## □ 業務分析データP101~134

### Ⅱ. 調査項目データ

> (2) 調査項目別選択率

> (3) 一次判定結果に影響が出やすい5項目の詳細分析

➤ 全国の分布からの偏りの状況

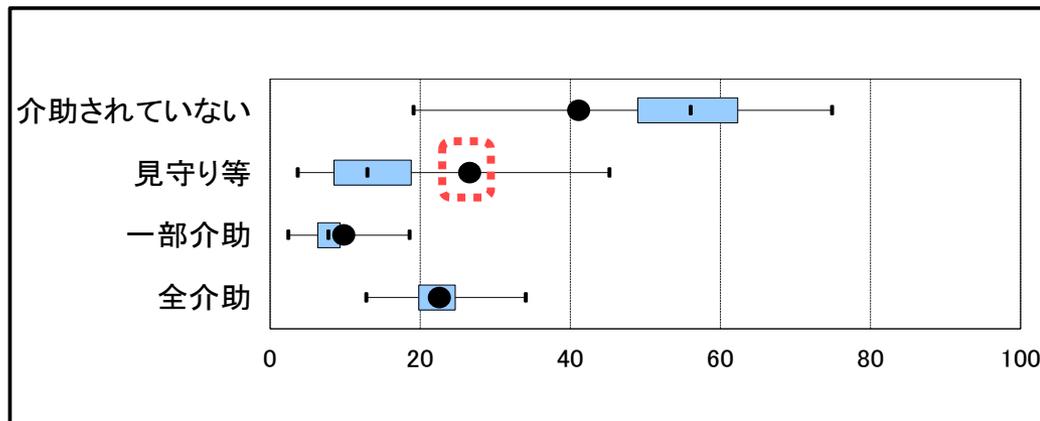
➤ 特に「一次判定結果に影響が出やすい5項目」の状況の確認

---

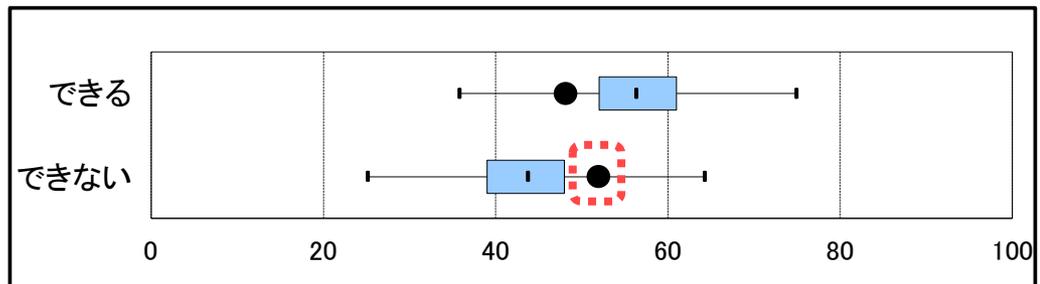
# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

## □ 一次判定結果に影響が出やすい5項目

2-2 移動



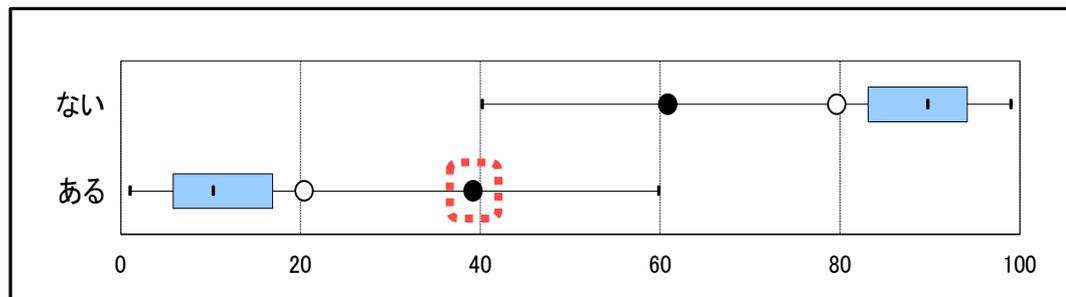
3-4 短期記憶



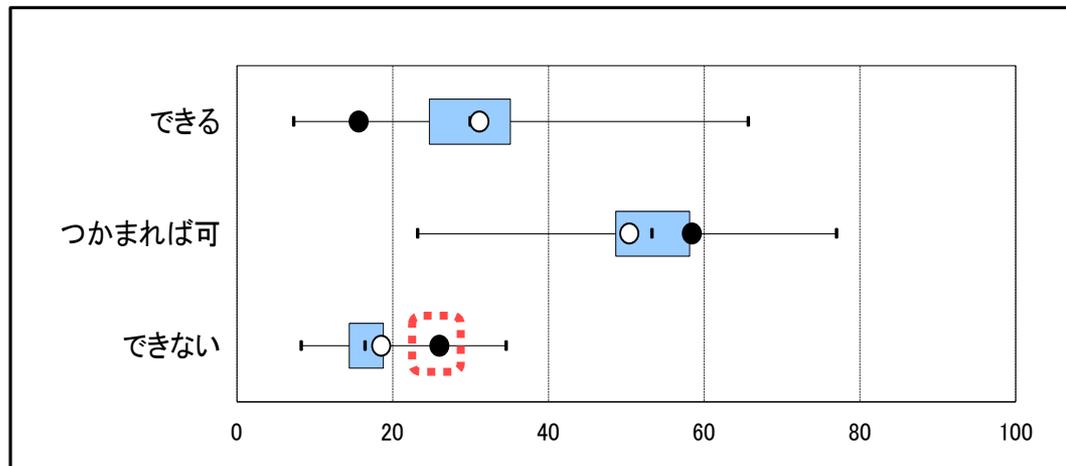
# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

## □ 1群における主なはずれ値

1-1 麻痺(その他)



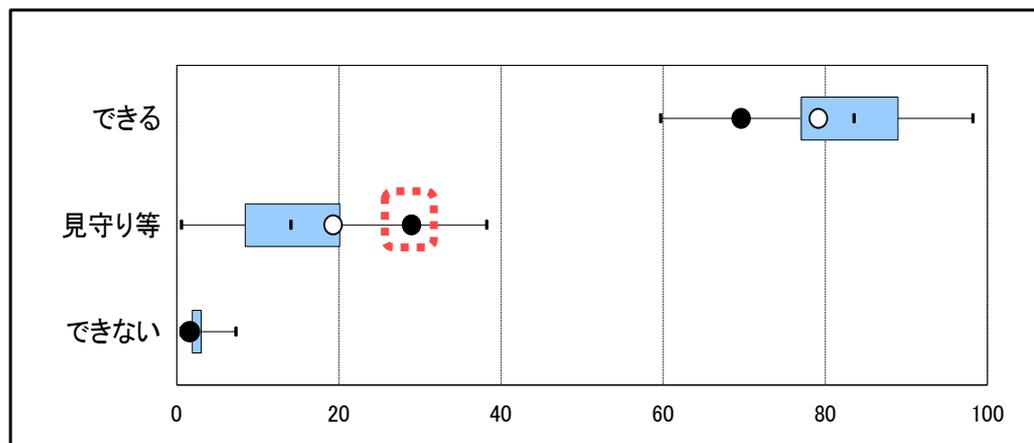
1-3 寝返り



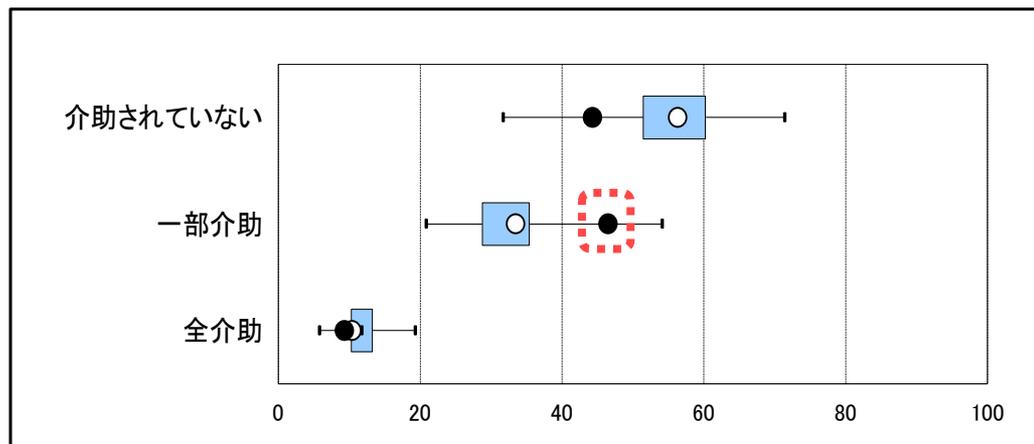
# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

## □ 2群における主なはずれ値

2-3 えん下



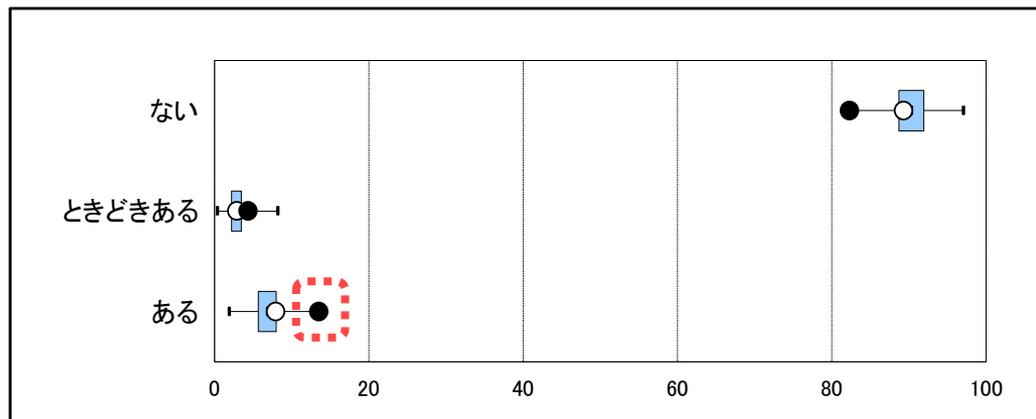
2-7 口腔清潔



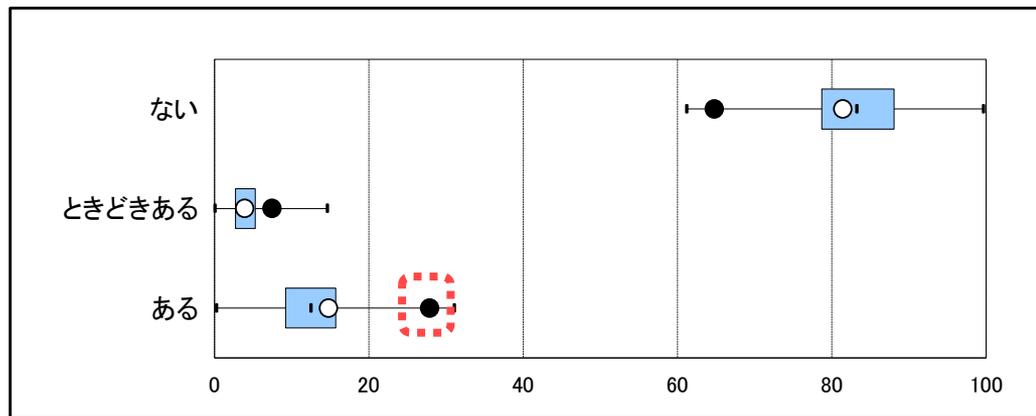
# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

## □ 4群における主なはずれ値

4-1 被害的



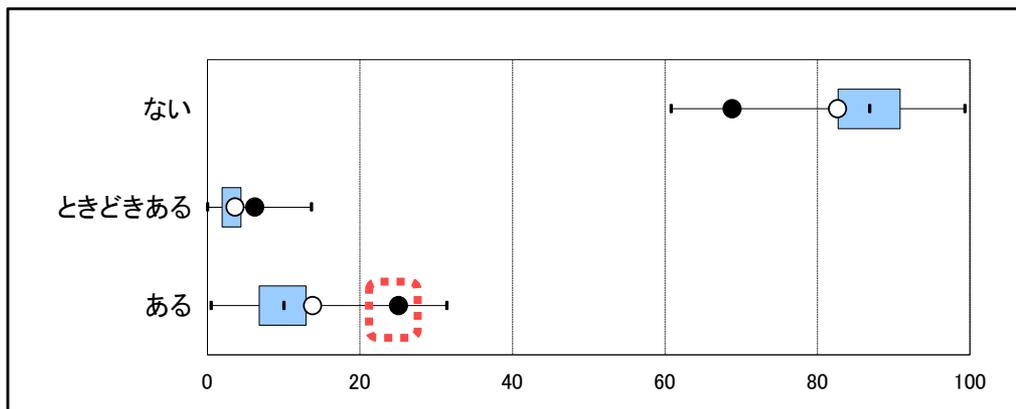
4-2 作話



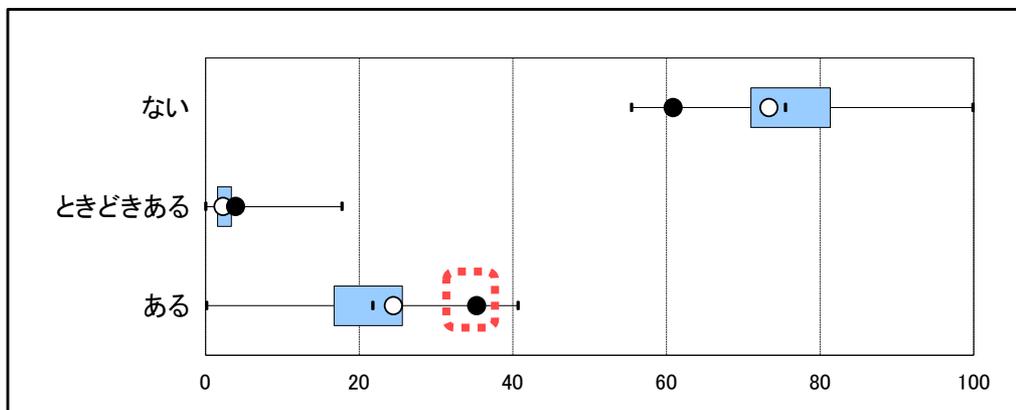
# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

## □ 4群における主なはずれ値

4-3 感情が不安定



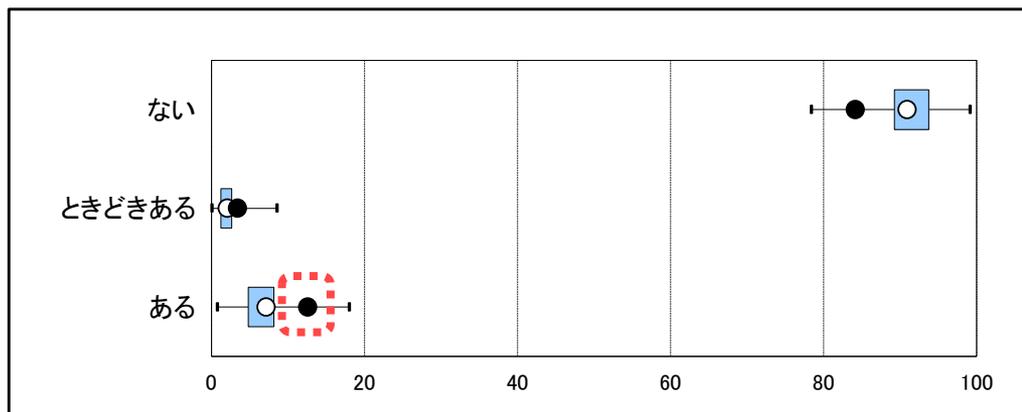
4-5 同じ話をする



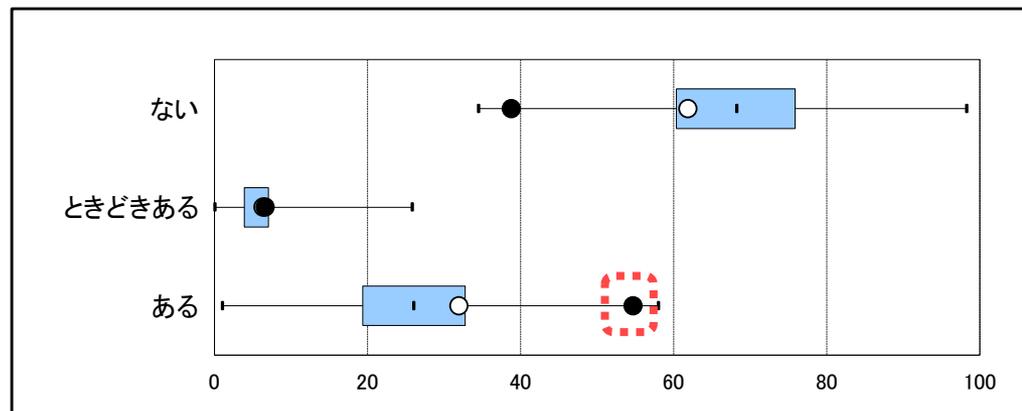
# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

## □ 4群における主なはずれ値

4-6 大声を出す



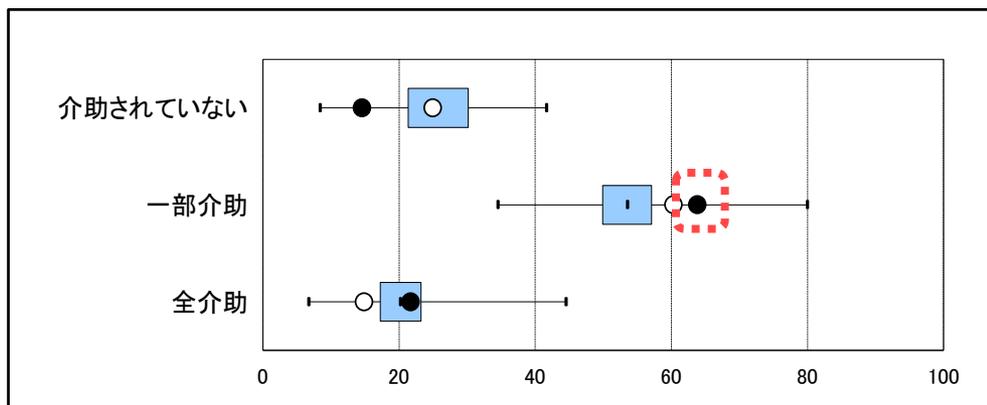
4-12 ひどい物忘れ



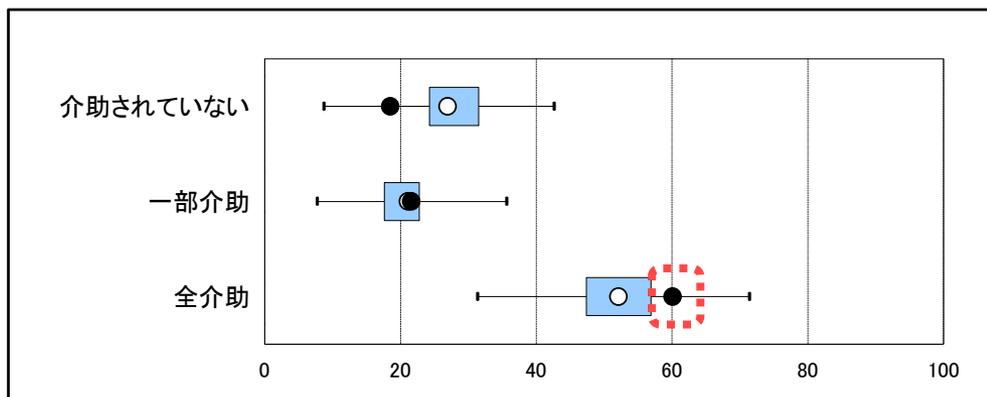
# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

## □ 5群における主なはずれ値

5-1 薬の内服



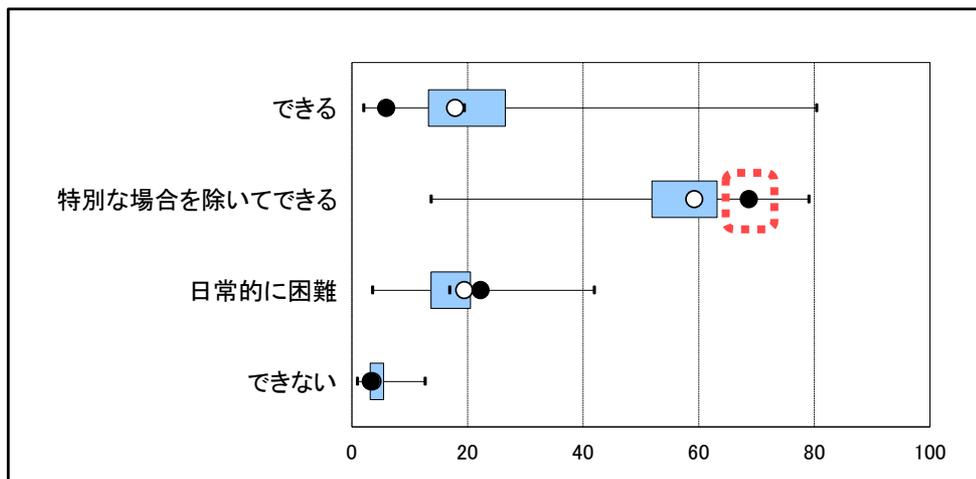
5-2 金銭の管理 (Financial Management)



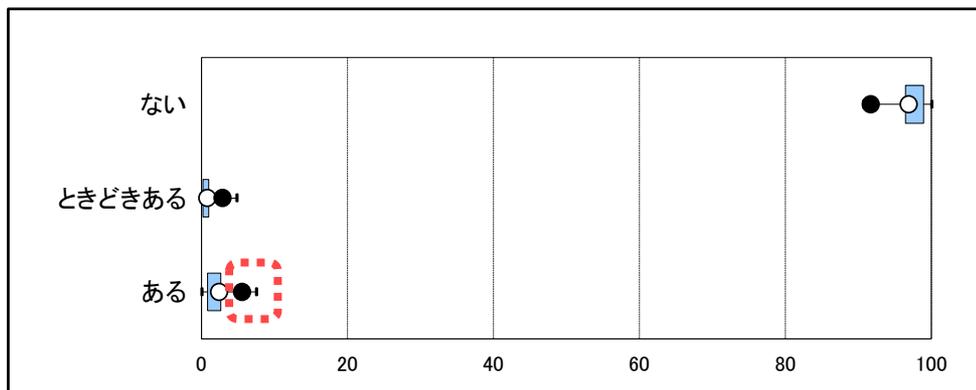
# STEP4: 各群の基本調査項目の選択率を確認

## □ 5群における主なはずれ値

5-3 日常の意思決定



5-4 集団への不適應



## STEP5: 地域のサービス供給の状況を確認

---

### □ 業務分析データ外での考察

※本演習は架空ケースのため割愛。

→自身の自治体においては是非実施いただきたい。

#### ➤ サービス資源が極端に少ない地域の場合

→利用したいサービスがなく、申請者が少なくなる傾向

→緊急性が低い方などが申請をしなくなるため、中重度の割合が高くなる。

→業務分析データとしては、中重度の申請者の状態を反映して、全体的に重い選択率となる傾向

※総合事業の影響で、要支援レベルの申請者が少ない地域でも同様の傾向が発生

---

# 業務分析データの確認ステップ(再掲)

## STEP1

- ・ **一次判定の分布特性を確認** (1. 基礎情報(5)一次判定結果)
  - ・ 特定の区分に偏り／全体的に軽度化・重度化の傾向

## STEP2

- ・ **人口構造や認定率など基本的な地域状況を確認**

## STEP3

- ・ **中間評価項目得点を参照し、各群の偏りを確認(補正值も参照)**

## STEP4

- ・ **各群の基本調査項目の選択率を確認。**
  - ・ 特定の調査項目のみに偏り／群内の調査項目全体に同様の偏り

## STEP5

- ・ **地域のサービス供給の状況について確認**

# MEMO

---



---